

# 日本の コンピュータ史

情報処理学会歴史特別委員会 編  
A5判・388頁 定価8,208円(本体7,600円+税)

The History of Japanese Computers

1980年から2000年の20年間の日本のコンピュータの歴史を情報処理学会歴史特別委員会で検証してまとめたものです。この時代は、パソコンとインターネットの時代へとITが大きく変貌と遂げた激変の時代であり、その最前線で関わった人たちによって執筆されています。

1960年以前の歴史をまとめた「日本のコンピュータの歴史」と1960年から1980年をまとめた「日本のコンピュータ発達史」をCD-ROMに収録して添付しています。



## 【編集委員会】

委員長：笈田 弘(前沖電気工業株式会社)  
幹事：松永俊雄(東京工科大学名誉教授)  
委員：旭 寛治(前株式会社日立製作所)／鶴飼直哉(前富士通株式会社)／浦城恒雄(東京工科大学名誉教授)／坂井修一(東京大学)／前島正裕(国立科学博物館)／山田昭彦(コンピュータシステム&メディア研究所)／和田英一(東京大学名誉教授)

## 【目次】

- 第1章 日本のコンピュータ史概論(1980年まで)
- 第2章 日本のコンピュータ史概論(1980年から2000年まで)
- 第3章 日本のコンピュータの発展 汎用大型コンピュータ(メインフレーム)／オフィスコンピュータ／パーソナルコンピュータ／スーパーコンピュータ／ワークステーション・サーバ／日本語ワードプロセッサ(ワードプロセッサ)／周辺機器／専用端末装置システム／ソフトウェア／文字コード／大学など研究機関での活動
- 第4章 ネットワーク社会への展開 ネットワーク環境の変遷／OSIの始まりと終焉／インターネット／モバイルコミュニケーション／電子商取引
- 第5章 情報技術分野の主要な研究開発プロジェクト 概要／第五世代コンピュータ／科学技術用高速計算システム／リアルワールド・コンピューティング／TRONプロジェクト／DIPS
- 第6章 その後の進展と今後の展望  
年表・年譜

## 「日本のコンピュータ史」購入申込書

送付先 ■ 〒101-0062 千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F 一般社団法人 情報処理学会出版担当  
Tel: (03)3518-8371 (部門直通) Fax: (03)3518-8375 E-mail: editj@ipsj.or.jp

会員価格 ■ (送料・税込み) **7,387 円** \*学会間の相互協力により、情報処理学会、電気学会、照明学会、電子情報通信学会、映像情報メディア学会の5学会の個人・法人会員の方は、会員価格で購入できます。

### 記入欄

#### ◎所属学会

学会名: \_\_\_\_\_ 会員 No.: \_\_\_\_\_

#### ◎購入申込冊数

購入申込冊数 \_\_\_\_\_ 冊 合計金額 \_\_\_\_\_ 円

#### ◎お支払い方法 下記の該当お支払い方法にチェック☑し、見積・納品・請求書の希望枚数をご記入ください。

○お支払い方法: 銀行 郵便振替 現金持参

○見積・納品・請求書(3枚綴り): \_\_\_\_\_ 通 希望 請求書宛先: \_\_\_\_\_

#### ◎送付先(※は必須事項)

ご氏名\*: (漢字) \_\_\_\_\_ (カナ) \_\_\_\_\_

送付区分\*: 自宅 勤務先

ご住所\*: 〒 \_\_\_\_\_

会社/学校名: \_\_\_\_\_ 所属: \_\_\_\_\_

Tel\*: \_\_\_\_\_ Fax: \_\_\_\_\_

E-mail\*: \_\_\_\_\_

#### ●通信欄 (要望事項等あればご記入ください)

## 名誉会員の紹介

第588回理事会（2014年1月）の議を経て、下記の方が2014年度定時総会（2014年6月4日）において名誉会員に推挙されました。  
（記載は会員番号順）



### 水野 忠則 君

みずの ただのり

1968年3月	名古屋工業大学経営工学科卒業
1968年4月	三菱電機株式会社入社
1987年2月	工学博士（九州大学）
1993年4月	静岡大学工学部教授
1995年10月	静岡大学情報学部教授
1995年10月～1999年9月	静岡大学評議員
2004年4月～2006年3月	静岡大学大学院理工学研究科副研究科長
2006年4月～2011年3月	静岡大学大学院創造科学技術研究部
2006年4月～2008年3月	静岡大学創造科学技術大学院大学院長
2006年4月～2011年3月	静岡大学大学院理工学研究科長
2011年4月～現在	愛知工業大学情報科学部教授

#### 本会関係略歴

- (1) 1968年9月入会
- (2) 理事（1997年度～1998年度）
- (3) 監事（2005年度～2006年度）
- (4) 副会長（2010年度～2011年度）
- (5) 会誌編集委員会委員（1988年度～1989年度）
- (6) 東海支部評議員（1993年度～1996年度）
- (7) モバイルコンピューティング研究会主査（1997年度～2000年度）
- (8) マルチメディア、分散、協調とモバイルシンポジウム運営委員長（1999年度～現在）
- (9) アクレディテーション委員会委員（1999年度～現在）
- (10) 放送コンピューティング研究グループ主査（2003年度～2006年度）
- (11) 情報規格調査会 SC21 専門委員会委員（1985年度～1992年度）
- (12) 1999年度 Best Author 賞
- (13) 2002年度 優秀教材賞
- (14) 2008年度 功績賞
- (15) 1999年度 フェロー



## 旭 寛 治 君

あさひ ひろはる

1971年6月 東京大学工学部卒業  
1971年7月 株式会社日立製作所入社  
1998年2月 同社ソフトウェア事業部 基本ソフトウェア本部長  
2000年1月 同社ソリューション事業部 ストレージソリューション本部長  
2001年4月 同社情報・通信グループ 主管技師長  
2004年4月 株式会社日立テクニカルコミュニケーションズ 代表取締役社長

### 本会関係略歴

- (1) 1974年6月入会
- (2) 理事 (1999年度～2000年度)
- (3) 副会長 (2005年度～2006年度)
- (4) 創立40周年記念事業実行委員会幹事 (1999年～2001年)
- (5) 同 記念祝典委員会幹事 (1999年～2001年)
- (6) 同 記念展示委員会委員長 (1999年～2001年)
- (7) コンピュータ博物館小委員会主査 (2001年度～現在)
- (8) 歴史特別委員会 (委員 2002年度～2012年度, 幹事 2013年度～現在)
- (9) アクレディテーション委員会副委員長 (2006年度～現在)
- (10) ITプロフェッショナル委員会委員長 (2007年度～現在)
- (11) 高度IT人材資格検討WG主査 (2008年度～現在)
- (12) 創立50周年記念事業実行委員会委員 (2008年度～2009年度)
- (13) 50年史編纂委員会委員長 (2008年度～2009年度)
- (14) 2007年度 功績賞
- (15) 2008年度 フェロー



## 松 田 晃 一 君

まつだ こういち

1970年3月 京都大学大学院工学研究科電子工学専攻修士課程修了  
1970年4月 日本電信電話公社 (現 NTT) 入社  
1995年3月 NTT コミュニケーション科学研究所 所長  
1998年6月 NTT 先端技術総合研究所 所長  
2000年6月 NTT アドバンステクノロジー株式会社 常務取締役  
2006年6月 NTT-AT IP シェアリング株式会社 代表取締役社長  
2006年4月～2008年3月 電気通信大学 理事  
2006年4月～2008年3月 東京大学 国際・産学共同研究センター 客員教授  
2006年8月～2011年7月 日本学術会議 連携会員  
2008年2月 独立行政法人情報処理推進機構 IT人材育成本部長  
2009年1月 同 ソフトウェア・エンジニアリング・センター 所長  
2012年7月～現在 同 顧問

### 本会関係略歴

- (1) 1978年10月入会
- (2) 理事 (1995年度～1996年度)
- (3) 副会長 (2003年度～2004年度)
- (4) 情報規格調査会理事 (1992年度～1995年度)
- (5) 論文誌編集委員会委員 (1987年度～1990年度)
- (6) 創立50周年記念式典実施委員会委員長 (2008年度～2009年度)
- (7) 1999年度 フェロー
- (8) 2006年度 功績賞

## 2013年度功績賞

功績賞は、情報処理に関する学術または関連事業に対し特別の功労があり、その功績が顕著な会員に贈呈されます。

本年度の受賞者は関連規程に基づき、第589回理事会（2014年3月）の議を経て、下記の3君に決定され2014年度定時総会（2014年6月4日）において、賞状および賞牌が授与されました。（記載は会員番号順）



寺中 勝美 君  
てらなか かつみ

本会正会員寺中勝美君（フェロー）は、永年にわたり情報処理分野の研究実用化に携わってこられました。

1976年日本電信電話公社（現NTT）入社以来、データベース、マルチメディア通信と分散処理の分野で研究開発に従事され、大規模分散データベース管理システムやマルチメディア情報検索技術の確立など多くの研究業績を挙げられました。また、数多くの実用化プロジェクトをその卓越したリーダーシップによって成功に導くことで、高度情報化社会の基盤となる大規模データベースシステムなどの実用化技術の確立と当該分野の産業発展に大きく寄与されました。

本会においては、1991年から1995年にマルチメディア通信と分散処理（DPS）研究会の幹事を務められ、その間に、同研究会にとって特徴的な活動であり現在まで継続しているDPSワークショップの創設に尽力されました。さらに財務担当理事（2000年度～2001年度）、副会長（2011年度～2012年度）を歴任され、本会の経営基盤改革に貢献されました。2002年度には本会フェローの称号を授与されています。

現在は、ITフォーラム推進委員長（2013年度）、技術応用運営委員会委員長（2014年度～現在）として、産業界と本会の橋渡しに関して貢献されています。

以上のように、同君が情報処理分野の発展、ならびに本会の発展に尽くされた功績はまことに顕著であります。



辻井 潤一 君  
つじい じゅんいち

本会正会員辻井潤一君（フェロー）は、永年にわたり機械翻訳、計算言語学、自然言語処理の研究に携わり、当該分野を国際的に牽引してこられました。

自然言語が持つ構造と意味、またそれらと知識の関係を情報科学の立場から究明する研究を先導し、計算言語学・自然言語処理分野を代表する研究者の1人として数多くの先駆的な業績を挙げるとともに、多数の優秀な人材の育成に貢献されています。京都大学における初期の研究では、科学技術庁が推進する機械翻訳プロジェクトを主導され、現在の機械翻訳技術に多大な影響を与えました。1988年には英国マンチェスター大学に教授として着任され、ヨーロッパ連合が推進する機械翻訳プロジェクトにおいて中心的な役割を果たされました。1995年に東京大学に教授として着任されてからは、自然言語の複雑な構造、意味、知識を処理する理論や基礎技術の研究を進めるとともに、これらの実際の応用として機械翻訳やテキストマイニングなどのアプリケーションの開拓にも精力的に取り組まれました。特に、単一

化文法に基づく言語解析システム Enju の開発、豊かな意味アノテーションを持つ GENIA コーパスの構築、機械翻訳やテキストマイニングシステムの実運用システム MEDIE、Info-Pubmed、FACTA 等の開発において世界的な注目を浴び、計算言語学・自然言語処理分野の発展に多大な貢献をされました。

これらの卓越した研究業績は、本会創立25周年記念論文賞、日本IBM科学賞、大和エイドリアン賞、IBM Faculty Award、本会フェロー、紫綬褒章等の賞・章を受けており、国内外で高く評価されています。また、計算言語学会（ACL）会長、国際機械翻訳協会（IAMT）会長、国際計算言語学委員会（ICCL）委員長、言語処理学会会長、本会理事（2001年度～2002年度）、本会自然言語処理研究会主査等の要職を歴任され、計算言語学・自然言語処理分野における国際的なリーダーとして当該分野を牽引されました。

以上のように、同君が、国内外の情報処理分野の発展と教育・研究、ならびに本会の活動の発展に尽くされた功績は、まことに顕著であります。



古川 一夫 君  
ふるかわ かずお

本会正会員古川一夫君は、永年にわたり情報通信分野の事業に携わってこられました。

1971年に株式会社日立製作所に入社されて以来、通信分野の事業に従事され、米国法人の最高技術責任者などを経て、日立製作所の社長、副会長を歴任されました。この間、社団法人日本経済団体連合会副会長（2007年～2009年）をはじめとする財界活動にも精力的に取り組まれ、我が国の産業界の発展に尽力されました。また、2011年10月からは、独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）の理事長として、エネルギー・環境問題の解決、産業技術の振興といった国際的に重要なテーマにリーダーとして取り組まれています。

本会においては、会長（2011年度～2012年度）として、本会のグローバル化に向けた施策の推進、学会経営基盤の安定化に向けた諸施策の推進、さらに情報処理分野の専門家集団である本会から政府・社会への積極的な提言活動の推進において、産業界での経営トップと

しての経験を活かし、強力なリーダーシップを発揮し、本会の発展に大きく貢献されました。

以上のように、同君が、我が国の情報通信産業に関する振興、ならびに本会の発展に尽くされた功績は、まことに顕著であります。

# 各賞表彰等(概要)

詳細は Web サイト ([http://www.ipsj.or.jp/award/sho\\_index.html](http://www.ipsj.or.jp/award/sho_index.html)) をご覧ください

## 2013 年度論文賞の表彰

本賞の選考は、表彰規程および論文賞受賞候補者選定手続に基づき、論文賞委員会(委員長 西尾章治郎)が、対象論文 629 編\*につき慎重に審議を行いました。その結果、下記の 9 編が受賞候補論文として選定され、理事会承認(2014 年 3 月 28 日付、定款上の理事会決議の省略手続きによる)を得て決定されました。なお、本会表彰規程により、2014 年度定時総会(2014 年 6 月)において著者に表彰状、賞牌および賞金が授与されました。

\* 選考を行ったのは「論文誌 ジャーナル」「Journal of Information Processing」「論文誌 コンシューマ・デバイス & システム」「Transactions on Bioinformatics」「Transactions on System LSI Design Methodology」の 5 誌です。以下 6 誌については対象論文がそれぞれ 50 編に満たないため、論文賞選定は翌年以降に持ち越すこととしました。「論文誌 プログラミング」「論文誌 数値モデル化と応用」「論文誌 データベース」「論文誌 コンピューティングシステム」「論文誌 デジタルコンテンツ」「Transactions on Computer Vision and Applications」

### 【情報処理学会論文賞】

- 「Chord # における経路表の維持管理コスト削減手法の提案とその評価」

[情報処理学会論文誌 Vol.53, No.12, pp.2752-2761 (2012)]

呉 承彦 君(学生会員) 安倍 広多 君(正会員)  
石橋 勇人 君(正会員) 松浦 敏雄 君(正会員)

- 「任意形状の堆積形成手法」

[情報処理学会論文誌 Vol.54, No.3, pp.1220-1229 (2013)]

櫻井 快勢 君(正会員) 宮田 一乗 君(正会員)

- 「大規模ソフトウェア保守のための影響波及量尺度インパクトスケール」

[情報処理学会論文誌 Vol.54, No.2, pp.870-882 (2013)]

小林 健一 君(正会員) 松尾 昭彦 君(正会員)  
井上 克郎 君(フェロー) 早瀬 康裕 君(正会員)  
上村 学 君 吉野 利明 君(正会員)

- 「コンピュータ将棋を用いた棋譜の自動解説と評価」

[情報処理学会論文誌 Vol.53, No.11, pp.2525-2532 (2012)]

金子 知適 君(正会員)

- 「人間とデバイスの感度の違いを利用したディスプレイ盗撮防止方式」

[情報処理学会論文誌 Vol.54, No.9, pp.2177-2187 (2013)]

山田 隆行 君(正会員) 合志 清一 君  
越前 功 君(正会員)

### 【Journal of Information Processing Outstanding Paper Award】

- 「Finding a Hamiltonian Path in a Cube with Specified Turns is Hard」

[Journal of Information Processing Vol.21, No.3, pp.368-377 (2013)]

Zachary Abel 君  
Erik D. Demaine 君  
Martin L. Demaine 君  
Sarah Eisenstat 君

Jayson Lynch 君

Tao B. Schardl 君

### 【情報処理学会論文誌 コンシューマ・デバイス & システム優秀論文賞】

- 「世界最大級のモバイル ISP システムを実現した OMCS の超並列システムモデル」

[情報処理学会論文誌 コンシューマ・デバイス & システム Vol.3, No.1 pp.21-33 (2013)]

相澤 正俊 君(正会員) 東 健二 君(正会員)  
大藤 豊喜 君(正会員) 川浦 立志 君(正会員)

### 【IPSJ Transactions on Bioinformatics Outstanding Paper Award】

- 「A Method for Isoform Prediction from RNA-Seq Data by Iterative Mapping」

[IPSJ Transactions on Bioinformatics Vol.5, pp.27-33 (2012)]

Tomoshige Ohno 君(学生会員)  
Shigeto Seno 君(正会員)  
Yoichi Takenaka 君(正会員)  
Hideo Matsuda 君(正会員)

### 【IPSJ Transactions on System LSI Design Methodology Outstanding Paper Award】

- 「A Robust Algorithm for Pessimistic Analysis of Logic Masking Effects in Combinational Circuits」

[IPSJ Transactions on System LSI Design Methodology Vol.5, pp.55-62 (2012)]

Taiga Takata 君(正会員)  
Yusuke Matsunaga 君(正会員)

※ 上記( )の会員情報は論文掲載時のものです。

## 2013 年度喜安記念業績賞の表彰

本会では、名誉会員故喜安善市先生のご遺族から寄贈いただいた資金により、産業界における顕著な業績を顕彰するため、「喜安記念業績賞」を設けております。

本賞は、情報技術に関する新しい発明、新しい機器や方式の開発・改良、あるいは事業化プロジェクトの推進において、顕著な業績をあげ、産業界への貢献が明確になったものを選定し、その貢献者に贈呈するものです。

本年度の受賞者は、「喜安記念業績賞候補者推薦用紙」により推薦された候補のうち、表彰規程および喜安記念業績賞候補者選定手続に基づき、中田副会長を委員長とする選定委員会において厳正な審査を行い、理事会承認(2014 年 3 月 28 日付、定款上の理事会決議の省略手続きによる)を得て、下記の 3 件の業績の貢献者 12 名に決定されました。

受賞者には、本会表彰規程により、6 月 4 日に開催された 2014 年度定時総会において、表彰状、賞牌および賞金が授与されました。

○「IT 漁業の推進および海洋環境と水産資源の可視化による水産業への貢献」

和田 雅昭 君 (正会員) 岡本 誠 君  
畑中 勝守 君 佐野 稔 君

○「サイドチャンネル攻撃対策技術の開発と実用化」

鳥居 直哉 君 (正会員) 伊藤 孝一 君  
武仲 正彦 君 伊豆 哲也 君 (正会員)  
高崎裕美子 君

○「スマートフォン向けアプリケーションにおけるプライバシー保護の取り組み」

竹森 敬祐 君 (正会員) 川端 秀明 君 (正会員)  
磯原 隆将 君 (正会員)

## 2013 年度長尾真記念特別賞の表彰

本会では、第 20 代会長長尾真先生（京都大学名誉教授）からご寄贈いただいた資金により、情報処理の研究・開発に携わる優秀な若手研究者を顕彰するため、「長尾真記念特別賞」を設けております。

本賞は、情報処理の学術・技術にかかわる分野でその研究開発に特に顕著な貢献が認められ、今後の進歩、発展が期待される 39 歳までの研究・開発者に贈呈するものです。

本年度の受賞者は「長尾真記念特別賞候補者推薦書」により推薦された候補者のうち、表彰規程および長尾真記念特別賞候補者選定手続きに基づき、西尾副会長を委員長とする選定委員会において厳正な審査を行い、理事会承認（2014 年 3 月 28 日付、定款上の理事会決議の省略手続きによる）を得て、下記の 3 君に決定されました。

受賞者には、本会表彰規程により、6 月 4 日に開催された 2014 年度定時総会において、表彰状および賞金が授与されました。

○「確率的潜在変数モデルに基づくデータマイニングに関する研究」

岩田 具治 君 (正会員)

○「ウェアラブルコンピューティング技術に基づく実世界指向エンタテインメントシステムの研究」

寺田 努 君 (正会員)

○「自然言語の深い構文・意味解析の研究とその応用」

宮尾 祐介 君 (正会員)

## 2013 年度優秀教材賞の表彰

本会では、情報処理教育に関して優れた教材の開発者を顕彰するため、優秀教材賞を設けております。

本年度の受賞者は、表彰規程および優秀教材賞受賞候補者選定手続きに基づき、寛捷彦情報処理教育委員長を委員長とする選定委員会において厳正な審査を行い、理事会承認（2014 年 3 月 28 日付、定款上の理事会決議の省略手続きによる）を得て、決定いたしました。

受賞者には、本会表彰規程により、6 月 4 日に開催された 2014 年度定時総会において、表彰状および賞金が授与されました。

○「学生による自主的なゲーム制作を促進する 3D プログラミングフレームワーク (Fine Kernel Toolkit)」

渡辺 大地 君 (正会員)

## 2013 年度学会活動貢献賞の表彰

本会では、特定分野の運営、または会員サービスの向上への貢献を顕彰するため、学会活動貢献賞を設けております。

本年度の受賞者は、表彰規程および学会活動貢献候補者選定手続きに基づき、中田副会長を委員長とする選定委員会において厳正な審査を行い、理事会承認（2014 年 1 月 25 日付、定款上の理事会決議の省略手続きによる）を得て、決定いたしました。

受賞者には、本会表彰規程により、6 月 4 日に開催された 2014 年度定時総会において、表彰状および賞牌が授与されました。

○「論文誌への査読貢献」

菅沼 拓夫 君 (正会員) 佐々木良一 君 (正会員)  
樋地 正浩 君 (正会員)

○「学会誌における編集業務への貢献」

高岡 詠子 君 (正会員)

○「デジタルプラクティスへの査読貢献」

住田 一男 君 (正会員)

## 2013 年度フェローのご紹介

2013 年度「情報処理学会フェロー」は、関連規程に基づき、フェロー選定委員会（委員長：富田悦次）において厳正な審査を行い、理事会承認（2014 年 3 月 28 日付、定款上の理事会決議の省略手続きによる）を得て、下記の 13 君に決定されました。

なお、2013 年度フェローには、2014 年度定時総会フェロー認証式（2014 年 6 月 4 日）において、認証状が授与されました。

詳細は Web サイト (<https://www.ipsj.or.jp/annai/aboutipsj/fellow/fellow.html>) をご覧ください。

○「電子システムの設計自動化技術の研究および国際標準化に対する貢献」

今井 正治 君 (正会員)

○「科学技術計算用グリッドコンピューティングミドルウェアの研究開発」

関口 智嗣 君 (正会員)

○「プログラミング言語の研究および若手育成への貢献」

竹内 郁雄 君 (正会員)

○「人間中心のマルチモーダルインタラクション研究の発展に対する貢献」

竹林 洋一 君 (正会員)

○「ペンとタブレットによるユーザインタフェースの研究と開発」

中川 正樹 君 (正会員)

○「画像処理、コンピュータグラフィックスの黎明期から 40 年にわたっての研究・普及・教育に対する貢献」

中嶋 正之 君 (正会員)

○「並列・分散システム基盤を対象としたアルゴリズム研究に対する貢献」

藤田 聡 君 (正会員)

- 「大学における情報系センター交流活動への貢献と情報教育環境整備に関する先進的な取り組み」  
藤村 直美 君（正会員）
- 「尤度を用いた機械学習アルゴリズムの開発とその応用に対する貢献」  
松山 泰男 君（正会員）
- 「非構造情報・半構造情報の分析，サービス利用，およびセキュリティの実用化に対する貢献」  
丸山 宏 君（正会員）
- 「データベースに関する研究開発および学会運営への貢献」  
山室 雅司 君（正会員）
- 「開発支援環境，システム運用管理などの先端ミドルウェアの開発，および学会運営への貢献」  
吉野 松樹 君（正会員）
- 「無線ネットワーク基盤技術の研究開発に対する貢献」  
渡辺 尚 君（正会員）

## 書評・会議レポート募集のお知らせ

情報処理学会会誌編集委員会では，会誌「情報処理」に掲載する書評，および会議レポートを広く会員の皆さまから募集しています。

### 1. 募集対象 次の2種類の記事について，原稿を募集します。

- a) 書 評 　：過去2年間に出版された，本学会員にとって有益な図書についての紹介もしくは批評。
- b) 会議レポート：情報処理に関する国際規模の会議・大会の報告など，時事性が高く，本学会員に広く知らせる価値のある話題。

### 2. 応募資格

原則として本学会員に限ります。

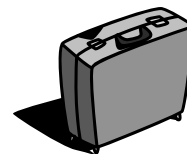
### 3. 応募の手続き

- 1) 表 題：書評の場合は，著者名，書名，ページ数，発行所，発行年，価格，ISBNを書く。  
会議レポートは，見出しを書く。書評，会議レポートの別を左肩に書く。
- 2) 評者名（会議レポートの場合は筆者名）・所属・評者連絡先（住所，E-mai, Fax など）の記載を忘れずに。
- 3) 本 文：書評は1,500字以内または3,000字以内（1または2ページ）。会議レポートは2,100字前後で書く。
- 4) （必要であれば）参考文献，付録，図，表をつける。  
詳しくは「原稿執筆のご案内 / 書評・会議レポート」  
（<http://www.ipsj.or.jp/magazine/sippitsu/shohyonews.html>）を参照してください。

### 4. 原稿の取扱い

投稿された原稿は会誌編集委員会で審査し，採否を決定します。採用にあたっては原稿の修正をお願いすることがあります。あらかじめご了承ください。

### 5. 照会／応募先 一般社団法人 情報処理学会 会誌編集部門 E-mail:editj@ipsj.or.jp







## 論文誌ジャーナル掲載論文リスト Vol.55 No.6 (June 2014)

### 【特集：Applications and the Internet in Conjunction with Main Topics of COMPSAC 2013】

- Editor's Message to Special Issue on Applications and the Internet in Conjunction with Main Topics of COMPSAC 2013  
Motonori Nakamura
- Geocookie : A Space-efficient Representation of Geographic Location Sets  
Peter Ruppel 他
- Algorithms and Techniques for Proactive Search  
C. Shaun Wagner 他
- Modeling of Dynamic Latency Variations for Simulation Study of Large-scale Distributed Network Systems  
Hiroshi Yamamoto 他
- A Portable Method for Improving Available Bandwidth of PC Cluster  
Takafumi Fukunaga
- A P2P-Based Sensor Data Stream Delivery Method to Accommodate Heterogeneous Cycles  
Tomoya Kawakami 他
- Privacy Enhancing Proxies in a Federation : Agent Approach and Cascade Approach  
Hiroyuki Sato 他
- Privacy Preserving Attribute Aggregation Method without Shared Identifier Binding  
Takeshi Nishimura 他

- Domain Registration Date Retrieval System for Improving Spam Mail Discrimination  
Nariyoshi Yamai 他
- A Web Synchronization Method for Browser-Based Communications  
Kazuyuki Tasaka 他
- A Device Specification Method by Describing a Circle in the Air  
Yasutaka Nishimura 他

### 【一般論文】

- ゲーミフィケーションを活用した自発的・持続的行動支援プラットフォームの試作と実践  
根本啓一 他
- 鉄道における Bluetooth RSSI 特性を用いた乗車車両および混雑の推定手法  
前川勇樹 他
- 音声ドキュメント検索における種々の検討および線形補間係数を自動決定する検索質問拡張  
柘植 覚 他
- SensorTank : An Interactive Water Vessel  
K.S. Lasith Gunawardena 他

\* : 推薦論文 Recommended Paper

† : テクニカルノート Technical Note



## 論文誌トランザクション掲載論文リスト (June 2014)

### 【論文誌 プログラミング Vol.7 No.2】

- Design and Implementation of GSN Patterns: A Step toward Assurance Case Language  
Yutaka Matsuno
- 例外処理機能を備えたシェル言語  
関口 渚 他
- 信号装置仕様の検証を通じた B メソッドにおける仕様記述法の検討  
寺田夏樹

### 【論文誌 コンシューマ・デバイス&システム Vol.4 No.2】

- スモールデータアプローチによるオフィスビルの電力需要予測方式  
川野裕希 他

### 【Transactions on Bioinformatics Vol.7】

- A Novel Evaluation Measure for Identifying Drug Targets from the Biomedical Literature  
Yeondae Kwon 他

### 【Transactions on Computer Vision and Applications Vol.6】

- Motion-Invariant Coding Using a Programmable Aperture Camera  
Toshiki Sonoda 他

### 【論文誌 データベース Vol.7 No.2】

- コンセプト追跡を用いたマイクロブログ検索  
宮西大樹 他

- レビューの文脈一貫性を用いたあらすじ文判定手法  
岩井秀成 他
- トピックと局面の対応関係に基づく実生活ツイートのマルチラベル分類  
山本修平 他
- 大規模時系列データの特徴自動抽出  
松原靖子 他
- 時間変化する特徴語によるマイクロブログ地名曖昧性解消  
落合桂一 他
- 部分統語構造を考慮した階層的確率オートマトンに基づく教師なしチャンキング  
若林 啓
- An Algorithm for Finding top-K Valid XPath Queries  
Kosetsu Ikeda 他
- カーナビ利用時の推薦経路と選択経路の差異に基づくルート推薦方式  
中島伸介 他
- Z スコアを用いた階層性を有するカテゴリ間関係の効果的可視化法  
伏見卓恭 他
- アウトオブオーダー型クエリ実行に基づくプラグイン可能なデータベースエンジン加速機構  
早水悠登 他
- 地域公共交通に適応したバスロケーションシステムの開発  
遠藤雅樹 他

## IPSI メールニュースへ広告を出しませんか？

広告を IPSJ メールニュースで配信しています。本会会員が主な読者なので、ターゲットを絞った広告に最適です。

- 配 信 数：約 25,000 通（原則毎週月曜日配信）
- 読 者 層：本会会員および非会員
- 形 式：テキストのみ。等幅半角 70 字 × 5 行。URL を入れてください。
- 掲載位置：ヘッダ（目次の上）  
フッタ（本文の最下行）
- 掲 載 料：ヘッダ：1 回 50,000 円（税込 54,000 円）※3 社限定  
フッタ：1 回 20,000 円（税込 21,600 円）  
※それぞれ行数超過については別途相談
- 申 込 先：[広告代理店]  
アドコム・メディア（株）E-mail: sales@adcom-media.co.jp  
〒169-0073 東京都新宿区百人町 2-21-27 Tel(03)3367-0571 Fax(03)3368-1519  
または、情報処理学会 会誌編集部門 E-mail: editj@ipsj.or.jp Tel(03)3518-8371
- 申込締切：毎週水曜日締切、翌週月曜日配信となります。
- 見 本：

— [広告] —

■■■■ ○○セミナー ■■■■

開催日時：1月10日（火）・11日（水）・12日（木）13：00～17：00  
会場：○○コンベンションセンター  
会費：情報処理学会会員の方には割引があります。  
詳細はこちらをご覧ください：<http://www.....com/>

— [広告] —

### ■ 各種問合せ先 ■

一般社団法人 情報処理学会（本部） ※ 支部所在地等詳細はリンクされている各支部ページでご参照ください。  
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F Fax(03)3518-8375 <http://www.ipsj.or.jp/>

担 当	E-mail	Tel(ダイヤルイン)	取り扱い内容
<b>■ 会員サービス部門</b>			
会 員	mem@ipsj.or.jp	03-3518-8370	入会、会費、変更連絡、退会、在会証明、会員証、会費等口座振替、海外からの送金
<b>■ 会誌編集部門</b>			
会誌編集	editj@ipsj.or.jp	03-3518-8371	会誌「情報処理」の掲載内容、広告掲載、転載許可、出版、論文誌（デジタルプラクティス）、著作権
<b>■ 研究部門</b>			
論文誌	editt@ipsj.or.jp	03-3518-8372	論文誌（ジャーナル／トランザクション／JIP）の編集・査読
調査研究／教育	sig@ipsj.or.jp		研究会登録、研究発表会、シンポジウム、研究グループ、国際会議、IFIP 委員会
<b>■ 事業部門</b>			
事 業	jigyo@ipsj.or.jp	03-3518-8373	全国大会、FIT、連続セミナー、プログラミング・シンポジウム
<b>■ 管理部門</b>			
総 務	soumu@ipsj.or.jp	03-3518-8374	理事会、支部、役員選挙、名誉会員
経 理	keiri@ipsj.or.jp		出納、送金連絡
システム企画	sys@ipsj.or.jp		システム企画、電子化委員会、電子図書館、IPSI メールニュース
図 書	tosho@ipsj.or.jp		出版物購入
<b>■ 情報規格調査会</b>			
規格部	standards@itscj.ipsj.or.jp	標準化フォーラム 〒105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館 308-3 Tel (03)3431-2808 Fax (03)3431-6493 <a href="http://www.itscj.ipsj.or.jp/">http://www.itscj.ipsj.or.jp/</a>	

# 会員の広場

Member's Voice

今月の会員の広場では、4月号へのご意見・ご感想を紹介いたします。まず、巻頭コラム「世界とつながる技術」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■アナログを経験したからこそ今〇〇できるのは幸せであり、いつの時代も感覚としての蓄積が人たらしめる1つかもしれないね。(千葉一博)

■「新しい技術に自分を合わせるのではなく、自分に合わせて技術を使うことができる」ことは、素晴らしいと思います。(匿名希望)

特集「情報教育と情報入試」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■大学初年次までの学生が受けてきた情報教育やその理解の程度などが分かり、大学で勤務する者としてとても参考になった。と同時に、高等学校までの情報教育について国も本腰を入れて検討しなければならないのではと強く感じた。(匿名希望)

■興味深かった。採用面接等でプロですと言いつつプログラムの組めない者が来るため、ソースコード並び替え方式のテストは出題の参考にしたと思う。(匿名希望)

■米国での、高校で1人ずつiPadを貸与して授業を実施するほどの徹底ぶりには、驚かされる。土日祝日休みで、ただでさえ勉強時間が減っている中で、「情報」や「英語」等の時間を重点的に盛り込んで、果たして学生がついてこれるのかは、いささか心配ではある。(匿名希望)

■他の国の事例がもう少しあると良かったかもしれません。(匿名希望)

■日本で Google, Facebook のような情報サービスを誕生させるために、何が足りないかを考察するための、良い特集だった。(佐伯嘉康)

■定期的に取り上げられている話題であるが、問題作成・授業始動・技術トレンドの兼ね合いなどが難しいためなかなか首尾良く進んでいないように見受けられる。非常に重要な課題だと思うのでこれからの展開に期待したい。(匿名希望)

■情報学教育のいろいろな現状が分かり参考になりました。今後の取り組みについて注目していきたいと思います。(石井一夫)

■韓国は、国を挙げて ICT を高度に利用して生活を良くしていこうという全体の雰囲気があるようだ。米国は、余裕で ICT を導入・活用しているように見える。日本では、何か先に進むのに重苦しい雰囲気、抵抗があるように感じるのだが、それは、自分の思い込みであってほしい。(匿名希望)

「1. 高等学校における情報科の位置付け」

■解決すべき課題の優先順位をつけていないように感じた。(高橋雅彦)

「7. 大学の一般情報教育」

■内容が無意味。調査目的が不明。結果をどうしようというのか。GEBOK に従っていないとして、どうするのか？(匿名希望)

「9. あなたにとって「情報」って入試科目ですか？」

■建設的であり良い。ただし、PR 不足。(匿名希望)

■制度を作る側・教える側の質的向上が次段階へ進むためのカギだと思う。(高橋雅彦)

特集「新年度企画：研究会活動紹介」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■役立つ情報とは思いますが情報量が多すぎる。(匿名希望)

■個々の研究会について具体的に紹介されており参考になりました。全体像や、類似分野の研究会同士の関係などを述べた記事があると、より役立つので

はと思います。 (匿名希望)

連載「古機巡礼 / 二進伝心：オーラルヒストリー：坂井利之氏インタビュー」については、以下のよう  
なご意見・ご感想をいただきました。

■「(情報を) 専門に勉強しなければ身につかない  
ようなものが1つ望まれるのですけれども、これは  
ないものねだりかもしれませんね」に同感すると  
ともに、情報の専門性を考え直さなければいけないと  
痛感しました。また、図られたのかもしれませんが  
「特集：情報教育と情報入試」に通じるようにも思  
いました。 (千葉一博)

■偉大な方の軌跡のお話は、研究生活の起爆剤と  
なる。 (匿名希望)

会誌の内容や今後取り上げてほしいテーマに関して、  
以下のようなご意見やご要望をいただきました。今  
後の参考にいたします。

■数年前の特集にあった「要求工学」や「形式仕様  
(フォーマルメソッド)」のような広い話題を、サー  
ベイ的に取り扱うことが少なくなっていると思  
います。 (匿名希望)

■今日のICTの現状を踏まえた「大学・専門学校に  
おける情報処理技術者教育」の現状とあり方につ  
いて取り上げてほしいと思います。 (匿名希望)

■プログラミング言語、アプリケーション、ソフト  
ウェアの3つの概念の境界が曖昧になりつつある昨  
今、これらの定義の解説や具体的な種類の一覧表な  
どが掲載されるとありがたい。 (匿名希望)

■日本の大学そして世界の各大学の専門の情報科情  
報教育の特集をしていただけたら幸いです。 (匿名希望)

■3Dプリンタ技術の特集していただきたく思  
います。 (三鴨道弘)

■アカデミックな情報分野の粋をはみ出せる人のコ  
ラムが読みたいです。 (高橋雅彦)

■(最近の連載では一番面白いかもしれない) 鉄道  
の連載は終了でしたか? (匿名希望)

【本欄担当 東本崇仁, 油井 誠/会員サービス分野】

これらのコメントはWeb版会員の広場「読者からの声」< URL : <http://www.ipsj.or.jp/magazine/dokusha.html> > にも掲載して  
います。Web版では、紙面の制限などのため掲載できなかったコメントも掲載していますので、ぜひ、こちらをご参照ください。  
会誌や掲載記事に関するご意見・ご感想は学会Webページでも受け付けております。今後もよりよい会誌を作るため、ぜひ皆  
様のお声をお寄せください。

皆様にとって会誌をより役立つものとするため、

- ・記事に対する感想、意見
- ・記事テーマの提案
- ・会誌または学会に対する全般的な意見、提言
- ・その他、情報処理技術についての全般的な意見、提言

など自由なご意見、ご感想をお待ちしております。

なお、「道しるべ」については

<URL : <http://www.ipsj.or.jp/magazine/sippitsu/michishirube.html> > で

これからのテーマ案を募集しており、いただいたご意見をまとめております。

※ご意見、ご感想を会誌に掲載させていただいた方には薄謝または記念品を進呈いたします。

掲載に際しては、編集の都合上、ご意見に手を加えさせていただくことがありますので、あらかじめ  
ご了承ください。なお、意見の投稿に伴う、住所、氏名、所属などの個人情報については、学会の  
プライバシーポリシーに準じて取り扱いたします。

<URL : <http://www.ipsj.or.jp/privacypolicy.html> >

応募先 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5 化学会館4F

情報処理学会 会誌編集部門

E-mail : [editj@ipsj.or.jp](mailto:editj@ipsj.or.jp) Fax (03) 3518-8375

<http://www.ipsj.or.jp/magazine/enquete.html>

ご意見をお寄せ  
ください!



IPJSJ カレンダー

開催日	名称	論文等応募締切日	参加締切日	開催地
	論文誌「仮想化時代の情報セキュリティと運用技術」 特集への論文募集 <a href="http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/15-N.html">http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/15-N.html</a>	6月16日(月)		
	論文誌「インタラクシヨンの理解および基盤・応用技術」 特集への論文募集 <a href="http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/15-J.html">http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/15-J.html</a>	6月20日(金)		
	論文誌「学生・若手研究者論文」特集への論文募集 <a href="http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/15-P.html">http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/15-P.html</a>	6月30日(月)		
	論文誌「娯楽の離散数理論」特集への論文募集 <a href="http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/15-L.html">http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/15-L.html</a>	7月31日(木)		
	論文誌「新しい社会を創る情報システム」特集への論文募集 <a href="http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/15-M.html">http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/15-M.html</a>	8月11日(月)		
	論文誌「Applications and the Internet in Conjunction with Main Topics of COMPSAC 2014」特集への論文募集 <a href="http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/15-R.html">http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/15-R.html</a>	9月5日(金)		
6月19日(木)～ 6月20日(金)	第99回プログラミング研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/pro99.html">http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/pro99.html</a>	4月18日(金)	当日のみ	旭川市民文化会館
6月20日(金)	第57回高度交通システムとスマートコミュニティ研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/its57.html">http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/its57.html</a>	5月21日(水)	当日のみ	グランフロント大阪
6月25日(水)～ 6月27日(金)	第98回数理モデル化と問題解決・ 第38回バイオ情報学合同研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/mps98bio38.html">http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/mps98bio38.html</a>	4月30日(水)	当日のみ	沖縄科学技術 大学院大学
6月28日(土)	第155回グラフィクスとCAD研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/cg155.html">http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/cg155.html</a>	5月9日(金)	当日のみ	NTT横須賀研究開発 センター
6月28日(土)	第26回インターネットと運用技術研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/iot26.html">http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/iot26.html</a>	5月13日(火)	当日のみ	新潟大学
7月3日(木)～ 7月4日(金)	第66回コンピュータセキュリティ・ 第10回セキュリティ心理学とトラスト合同研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/csec66spt10.html">http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/csec66spt10.html</a>	5月13日(火)	当日のみ	サン・リフレ函館
7月3日(木)～ 7月4日(金)	第217回自然言語処理研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/nl217.html">http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/nl217.html</a>	5月27日(火)	当日のみ	オホーツク・ 文化交流センター (エコーセンター 2000)
7月4日(金)	東海支部主催講演会「モバイル空間統計と社会の頭脳システム」 <a href="http://www.ipsj-tokai.jp">http://www.ipsj-tokai.jp</a>		当日のみ 参加無料 会員外の方も参加可	名古屋工業大学
7月5日(土)	第32回ゲーム情報学研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/gi32.html">http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/gi32.html</a>	5月28日(水)	当日のみ	香川大学
7月9日(水)～ 7月11日(金)	マルチメディア、分散、協調とモバイル (DICOMO2014) シンポジウム <a href="http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/dicomo2014.html">http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/dicomo2014.html</a>	3月3日(月)		ホテル泉慶 (新潟県新発田市)
7月9日(水)～ 7月11日(金)	第185回ソフトウェア工学研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/se185.html">http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/se185.html</a>	4月25日(金)	当日のみ	富良野文化会館
7月15日(火)	連続セミナー 2014 第2回「ウェアラブルが切り開くIT新潮流」 <a href="http://www.ipsj.or.jp/event/seminar/2014/index.html">http://www.ipsj.or.jp/event/seminar/2014/index.html</a>		定員になり次第	化学会館 大阪大学中之島センター
7月21日(月)	第99回数理モデル化と問題解決研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/mps99.html">http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/mps99.html</a>	4月19日(土)	当日のみ	Monte Carlo Resort (ラスベガス)
7月22日(火)～ 7月23日(水)	第176回知能システム研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/ics176.html">http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/ics176.html</a>	6月9日(月)	当日のみ	沖縄科学技術 大学院大学
7月24日(木)～ 7月25日(金)	第160回マルチメディア通信と分散処理研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/dps160.html">http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/dps160.html</a>	5月28日(水)	定員になり次第 会場(宿)への 宿泊が原則*必須*	平泉ホテル武蔵坊
7月24日(木)～ 7月26日(土)	第102回音声言語情報処理研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/slp102.html">http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/slp102.html</a>	5月8日(木)	当日のみ	ホテル花巻 (岩手県花巻市)
7月28日(月)～ 7月29日(火)	第43回ユビキタスコンピューティングシステム研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/ubi43.html">http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/ubi43.html</a>	5月31日(土)	当日のみ	国立情報学研究所
7月28日(月)～ 7月30日(水)	2014年並列/分散/協調処理に関する 『新潟』サマー・ワークショップ (SWoPP新潟2014) <a href="http://www.hpcc.jp/swopp/">http://www.hpcc.jp/swopp/</a>	5月13日(火)	当日のみ	朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター
8月1日(金)	第85回オーディオビジュアル複合情報処理研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/avm85.html">http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/avm85.html</a>	6月6日(金)	当日のみ	千葉工業大学
8月1日(金)～ 8月2日(土)	第159回データベースシステム・ 第115回情報基礎とアクセス技術合同研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/dbs159ifat115.html">http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/dbs159ifat115.html</a>	6月3日(火)	当日のみ	九州大学 医学部百年講堂
8月2日(土)	第103回人文科学とコンピュータ研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/ch103.html">http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/ch103.html</a>	6月2日(月)	当日のみ	兵庫県立歴史博物館
8月4日(月)～ 8月5日(火)	第159回ヒューマンコンピュータインタラクシヨン研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/hci159.html">http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/hci159.html</a>	6月12日(木)	当日のみ	岩手県花巻温泉 ホテル紅葉館
8月4日(月)～ 8月6日(水)	2014年度教員免許更新講習 <a href="http://www.ipsj.or.jp/annai/committee/education/KOSHU201408.html">http://www.ipsj.or.jp/annai/committee/education/KOSHU201408.html</a>		7月31日(木) 定員になり次第	東京大学 駒場キャンパス
8月21日(木)～ 8月22日(金)	平成26年度電気関係学会東北支部連合大会開催案内および講演募集 <a href="http://www.topic.ad.jp/ipsj-tohoku/doku.php?id=announce:convention_20140821">http://www.topic.ad.jp/ipsj-tohoku/doku.php?id=announce:convention_20140821</a>	6月15日(日)		山形大学工学部
8月24日(日)	夏のプログラミング・シンポジウム 2014 <a href="http://prosym.github.io/sprosym2014/">http://prosym.github.io/sprosym2014/</a>	6月12日(木)	7月24日(木)	(株)ドリコム・ プレゼンテーションルーム
8月28日(木)～ 8月29日(金)	DAシンポジウム2014—システム設計技術とLSI設計技術— <a href="http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/s-da2014.html">http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/s-da2014.html</a>	5月23日(金)		下呂温泉 水明館

開催日	名 称	論文等応募締切日	参加締切日	開催地
9月1日(月)～ 9月2日(火)	第193回コンピュータビジョンとイメージメディア研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/cvim193.html">http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/cvim193.html</a>	6月6日(金)	当日のみ	筑波大学
9月1日(月)～ 9月3日(水)	ソフトウェアエンジニアリングシンポジウム2014 <a href="http://ses.sigse.jp/2014/">http://ses.sigse.jp/2014/</a>	5月2日(金)		芝浦工業大学 芝浦キャンパス
9月3日(水)～ 9月5日(金)	FIT2014 第13回情報科学技術フォーラム <a href="http://www.ipsj.or.jp/event/fit/fit2014/index.html">http://www.ipsj.or.jp/event/fit/fit2014/index.html</a>			筑波大学 筑波キャンパス
9月4日(木)～ 9月5日(金)	第11回ネットワーク生態学シンポジウム <a href="http://www.neteco.jp/symposium/201409/">http://www.neteco.jp/symposium/201409/</a>	8月1日(金)	定員になり次第	湘南国際村センター
9月8日(月)～ 9月9日(火)	平成26年度電気・電子・情報関係学会東海支部連合大会 開催案内および講演募集 <a href="http://www.ipsj-tokai.jp/rengo2014/">http://www.ipsj-tokai.jp/rengo2014/</a>	6月26日(木)		中京大学 名古屋キャンパス
9月11日(木)～ 9月12日(金)	平成26年度電気関係学会北陸支部連合大会開催案内および講演募集 <a href="http://jhes2014.nc-toyama.ac.jp">http://jhes2014.nc-toyama.ac.jp</a>	7月11日(金)		富山高等専門学校 本郷キャンパス
9月17日(水)～ 9月18日(木)	2014年度関西支部支部大会開催案内および論文募集 <a href="http://kansai.ipsj.or.jp/sibutaiikai_2014/index.html">http://kansai.ipsj.or.jp/sibutaiikai_2014/index.html</a>	6月20日(金)		大阪大学 中之島センター
9月18日(木)～ 9月19日(金)	平成26年度(第67回)電気・情報関係学会九州支部連合大会 開催案内および講演募集 <a href="http://www.jceee-kyushu.jp/">http://www.jceee-kyushu.jp/</a>	7月15日(火)		鹿児島大学 郡元キャンパス
9月25日(木)～ 10月17日(金)	連続セミナー2014 第3回「モバイル・クラウド時代のソフトウェア開発技術」 <a href="http://www.ipsj.or.jp/event/seminar/2014/index.html">http://www.ipsj.or.jp/event/seminar/2014/index.html</a>		定員になり次第	化学会館 大阪大学中之島センター
10月17日(金)～ 10月25日(土)	連続セミナー2014 第4回「モバイル・クラウド時代を加速するIOT (Internet of Things)」 <a href="http://www.ipsj.or.jp/event/seminar/2014/index.html">http://www.ipsj.or.jp/event/seminar/2014/index.html</a>		定員になり 次第	化学会館 大阪大学中之島センター
10月25日(土)～ 11月11日(火)	電気・情報関連学会中国支部連合大会開催案内および一般講演募集 <a href="http://rentai.fukuyama-u.ac.jp">http://rentai.fukuyama-u.ac.jp</a>	7月28日(月)		福山大学
11月11日(火)～ 12月1日(月)	連続セミナー2014 第5回「モバイル・クラウド時代のデータプライバシー」 <a href="http://www.ipsj.or.jp/event/seminar/2014/index.html">http://www.ipsj.or.jp/event/seminar/2014/index.html</a>		定員になり次第	化学会館 大阪大学中之島センター
12月1日(月)～ 12月8日(月)	連続セミナー2014 第6回「アナリティクス適用事例」 <a href="http://www.ipsj.or.jp/event/seminar/2014/index.html">http://www.ipsj.or.jp/event/seminar/2014/index.html</a>		定員になり次第	化学会館 大阪大学中之島センター
12月8日(月)～ 12月10日(水)	マルチメディア通信と分散処理ワークショップ <a href="http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/dpsws2014.html">http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/dpsws2014.html</a>	8月11日(月)		出雲・玉造温泉 ホテル玉泉
<b>2015年</b>				
3月17日(火)～ 3月19日(木)	情報処理学会 第77回全国大会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/event/taikai/77/index.html">http://www.ipsj.or.jp/event/taikai/77/index.html</a>			京都大学 吉田キャンパス

Web ページ (<http://www.ipsj.or.jp/>) 更新情報

[トピックス]

- 5月15日 人材募集情報 (Vol.55 No.6)
- 5月15日 会誌「情報処理」Web カタログ (Vol.55 No.6)
- 5月12日 2014年度定時総会の開催について
- 5月12日 「ポスト「京」(エクサスケールスーパーコンピュータ)で重点的に取り組むべき社会的・科学的課題について」に対する意見
- 5月12日 シニア会員申請受付開始
- 5月7日 「中央教育審議会高大接続特別部会審議経過報告及び初等中等教育分科会高等学校教育部会審議まとめ案」に対する意見
- 4月21日 高度IT人材資格『企業認定』制度(案)

## 人材募集 (有料会告)



**申込方法:** 任意の用紙に件名、申込者氏名、勤務先、職名、住所、電話番号および請求書に記載する「宛名」、Web掲載の有無などを記載し、掲載希望原稿（[募集職種、募集人員、(所属)、専門分野、(担当科目)、応募資格、着任時期、提出書類、応募締切、送付先、照会先]）を添えて下記の申込先へ、E-mail、Fax または郵送にてお申し込みください。

\*都合により編集させていただく場合がありますので、ご了承ください。

**申込期限:** 毎月15日を締切日とし翌月号（15日発行）に掲載します。

**掲載料金:** 国公立教育機関、国公立研究機関 税抜 20,000円（税込 21,600円）

賛助会員（企業） 税抜 30,000円（税込 32,400円）

賛助会員以外の企業 税抜 50,000円（税込 54,000円）

\*本会誌へ掲載依頼いただいた場合に限り、追加料金 税抜 4,000円（税込 4,320円）で同一内容を本会 Web ページに掲載できます。

**申込先:** 情報処理学会 会誌編集部門（有料会告係） E-mail: editj@ipsj.or.jp Fax(03)3518-8375

\*原稿受付の際には必ず原稿受領のお知らせを差し上げています。もし返信がない場合は念のため確認のご連絡をください。

### \*特に指定がないかぎり履歴書には写真を貼付のこと

#### ■情報・システム研究機構国立情報学研究所

募集人員 准教授、助教 各若干名（教授採用を考慮する場合もある。助教は任期付き）

研究開発分野 ①情報学プリンシプル研究分野、②アーキテクチャ科学研究分野、③コンテンツ科学研究分野、④情報社会関連研究分野、

⑤新たな情報学を拓く研究分野

応募資格 原則として博士の学位取得または取得見込みの方（人文・社会科学系の研究者にあつては、これに準ずる方を含む）

着任時期 原則として2015年4月1日

提出書類 (1)履歴書（別紙様式1、※希望研究部門（研究開発分野）、希望職種（准教授、助教等）を記入のこと）、(2)研究業績（別紙様式2、※論文、著書を公表年順に記載し、主要業績3編について、別刷（コピー可）各3部を添付すること）、(3)学会における活動状況（別紙様式3）、(4)職域における活動状況（別紙様式4）、(5)社会における活動状況（別紙様式5）、(6)推薦書/照会先：推薦書がある場合、同封すること。推薦書がない場合、応募者の業績について照会できる方の氏名、連絡先を記すこと、(7)就任後の抱負：任意の様式（2000字程度）※別紙様式1～5については、Webページからダウンロードしてください

応募締切 2014年6月30日（必着）

送付先 〒101-8430 東京都千代田区一ツ橋2-1-2 情報・システム研究機構国立情報学研究所長

「応募書類在中」と朱書き書留 \*応募書類は返却しません

照会先 情報学プリンシプル研究系研究主幹・教授 山田茂樹 E-mail: koubo@nii.ac.jp

その他 書類審査および面接による。面接は書類審査合格者を対象とし、これにかかる旅費、宿泊費等は自己負担となります。より詳細な応募要領はWebページ（<http://www.nii.ac.jp/>）を参照のこと

#### ■慶應義塾大学理工学部生命情報学科

募集人員 教授、准教授または専任講師 1名（任期：5年間、任期中の評価により任期のない専任教員への採用あり）

専門分野 脳や神経の仕組みを物理化学的、生理学的、情報学的に探究する研究

応募資格 博士の学位を有する方

着任時期 2015年4月1日

提出書類 Webページ（<http://www.st.keio.ac.jp/corporations/recruit/index.html>）をご参照ください

応募締切 2014年7月31日（当日消印有効）

送付先/照会先 〒223-8522 神奈川県横浜市港北区日吉3-14-1 慶應義塾大学理工学部生命情報学科 榎原康文

E-mail: yasu@bio.keio.ac.jp 「神経科学教員応募書類」と朱書き（簡易）書留

その他 選考方法：書類審査後に面接

## ■岡山大学大学院自然科学研究科

- 募集人員 助教 1名  
 所 属 産業創成工学専攻計算機科学講座(工学部情報系学科)  
 専門分野 計算機工学分野(基盤ソフトウェア構成技術など)  
 応募資格 着任時に博士の学位を有しているか取得見込みである方で、心身ともに健康で、教育・研究に意欲的な方  
 着任時期 2014年11月1日以降のできる限り早い時期  
 提出書類 (1)履歴書(様式1)、(2)学会および社会における活動(様式2)、(3)教育に関する経歴書(様式3)、(4)研究業績概要書(様式4)、(5)研究業績目録(様式5)、(6)主要論文別刷等、(7)推薦書2通。なお、応募者について照会可能な方2名以上の氏名・連絡先を推薦書に代えることができます ※様式1～5は、岡山大学大学院自然科学研究科Webページ([http://www.gnst.okayama-u.ac.jp/other/koubo\\_index.html](http://www.gnst.okayama-u.ac.jp/other/koubo_index.html))からダウンロードしてご使用願います  
 応募締切 2014年7月31日(必着)  
 送付先/照会先 〒700-8530 岡山県岡山市北区津島中3-1-1 岡山大学大学院自然科学研究科産業創成工学専攻計算機科学講座  
 教員選考委員長 名古屋彰 E-mail: [nagoya@cs.okayama-u.ac.jp](mailto:nagoya@cs.okayama-u.ac.jp)  
 その他 詳細はWebページ(<http://www.okayama-u.ac.jp/user/jinji/bosyu/kyoiku/kyoiku.html>)をご覧ください

## ■新潟工科大学工学部工学科

- 募集人員 准教授または助教 1名(任期:5年。任期満了後、任期のない専任教員への任用の可能性あり)  
 所 属 工学部工学科(改組後の学科名)  
 専門分野 電子情報通信にかかわる分野  
 担当科目 通信基礎、通信理論、オペレーティングシステム、伝送システムから2科目以上、工学ゼミ、学生実験、卒業研究、当該分野の大学院授業科目 他  
 応募資格 次の(1)～(5)の要件をすべて満たす方。(1)上記授業科目を担当できる方、(2)上記専門分野で教育・研究業績のある方、(3)大学院において専門分野の教育と研究指導ができる方、(4)研究代表者として独立した研究室を運営できる方、(5)博士の学位を有する方、または着任までに取得見込の方  
 着任時期 2015年4月1日  
 提出書類 (1)履歴書<sup>\*1</sup>、(2)研究業績書<sup>\*1</sup>、(3)主要論文別刷(3編、コピー可)、(4)研究業績の概要<sup>\*1\*2</sup>、(5)教育業績の概要<sup>\*1\*2</sup>、(6)採用後の教育研究に関する抱負(任意様式)<sup>\*2</sup>、(7)推薦書または意見を求めることができる方2名の氏名と連絡先(任意様式)、(8)選考結果通知用封筒(長3封筒に返信先を明記し、82円切手貼り付けのこと)  
 \*1.はいずれも本学所定様式、\*2.はいずれも2000字以内  
 応募締切 2014年8月20日(必着)  
 送付先 〒945-1195 新潟県柏崎市藤橋1719 新潟工科大学事務局総務課  
 「教員応募書類(電子情報通信)在中」と朱書し必ず簡易書留 ※提出された書類は返却いたしません  
 照会先 工学部 教授 角山正博 E-mail: [mtuno@iee.niit.ac.jp](mailto:mtuno@iee.niit.ac.jp) Tel(0257)22-8111(代表) Fax(0257)22-8112(代表)  
 その他 選考方法:書類による選考の後、面接等を行います。ただし、その場合の交通費等は自己負担となります  
 新潟工科大学の詳細については、本学Webページを参照してください  
 本学所定様式については、本学Webページ(<http://www.niit.ac.jp/>)からダウンロードしてください

## ■芝浦工業大学工学部通信情報学群情報工学科

- 募集人員 教授、准教授、または助教 1名(助教は任期3年、その後審査により1年ずつ通算5年まで延長可。審査により准教授への昇格有り)  
 専門分野 ソフトウェア工学(要求工学、テスト、検証等)  
 担当科目 「ソフトウェア工学」、「情報工学英語」、「情報工学概論」、プログラミング演習科目等  
 応募資格 博士の学位を有し、大学院を担当でき、情報工学の基礎系に造詣が深く、応用分野も担当できること  
 国際化教育、活動に積極的に参画いただける方  
 着任時期 2015年4月1日  
 提出書類 (1)履歴書(学歴、職歴、学会および社会における活動等)、(2)研究業績リスト(査読付き論文、査読付き国際会議、その他の論文(口頭発表を含む)、著書を区別、すべての著者名を記載、年号は西暦、分類ごとに最新のものから番号順)、(3)主要論文別刷(最近のものを5編以内、コピー可)、(4)教育に対する抱負(A4用紙2枚以内)、(5)研究に対する抱負(A4用紙2枚以内)、(6)推薦書  
 応募締切 2014年8月22日(必着)  
 送付先 〒135-8548 東京都江東区豊洲3-7-5 芝浦工業大学工学部情報工学科 「教員公募書類在中」と朱書し書留  
 照会先 情報工学科主任 杉本 徹 E-mail: [sugimoto@shibaura-it.ac.jp](mailto:sugimoto@shibaura-it.ac.jp) Tel(03)5859-8516  
 その他 本公募に関する詳細はWebページ(<http://www.shibaura-it.ac.jp/recruit/professor/index.html>)をご確認ください



## ◆◆ 有料会告について ◆◆

本会の主催・共催行事および協賛・後援記事の次第書（論文募集、参加案内等）の本誌掲載については、下記により有料にて取り扱っていますのでお知らせします。

### 記

#### ■掲載条件

件名	内容	掲載単位	掲載料金	
論文募集／ 参加者募集	国際会議、シンポジウム、ワークショップ、講演会、講習会などの論文募集・参加者募集	1 ページ、1/2 ページ または 1/4 ページ	(主催・共催)	
			1 ページ	50,000 円 (税込 54,000 円)
			1/2 ページ	30,000 円 (税込 32,400 円)
			1/4 ページ	20,000 円 (税込 21,600 円)
			(協賛)	
広告として取り扱う				
人材募集	国公立教育機関、国公立研究機関、 企業の人材募集	10 行程度	国公立教育機関、国公立研究機関	20,000 円 (税込 21,600 円)
			賛助会員 (企業)	30,000 円 (税込 32,400 円)
			賛助会員以外の企業	50,000 円 (税込 54,000 円)
			* 本会誌へ掲載依頼いただいた場合に限り、追加料金 4,000 円 (税込 4,320 円) で同一内容を本会 Web ページに掲載できます。	

■申込方法 任意の用紙に、件名、申込者氏名、勤務先、職名、住所、電話番号および請求書宛先、Web 掲載の有無（人材募集のみ）などを記載し、掲載希望原稿を添えて下記の申込先へお申し込みください。

#### ■原稿の書き方

- 行事次第書： A4 判カメラレディまたは PDF ファイル（フォント埋め込み）とします。  
(1 ページ) 天地 260mm × 左右 175mm  
(1/2 ページ) 天地 130mm × 左右 175mm  
(1/4 ページ) 天地 65mm × 左右 175mm  
\* A4 判以外の原稿は縮小または拡大となりますのでご注意ください。

- 人材募集： 次の項目を明記し、E-mail または Fax、郵送にてお送りください。  
[募集職種、募集人員、(所属)、専門分野、(担当科目)、応募資格、着任時期、提出書類、応募締切、送付先、照会先]  
\* なお、都合により編集させていただく場合がありますので、ご了承ください。

■申込期限 毎月 15 日を締切日とし、翌月号（15 日発行）に掲載します。

■掲載料金 掲載号発行日に料金を請求いたしますので、3 カ月以内にお支払いください。

■掲載申込先 一般社団法人 情報処理学会 会誌編集部門 (有料会告係)  
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F  
E-mail: editj@ipsj.or.jp Tel (03) 3518-8371 Fax (03) 3518-8375

# FIT2014 第13回情報科学技術フォーラム

## 聴講参加・懇親会参加並びに講演論文集 事前予約申込の御案内

FIT2014Web サイト : <http://www.ipsj.or.jp/event/fit/fit2014/>

電子情報通信学会(情報・システムソサイエティ、ヒューマンコミュニケーショングループ)と情報処理学会とは2002年から合同で毎年秋季にFIT(Forum on Information Technology)を開催しており、2014年9月には第13回目を筑波大学で開催致します。

つきましては、聴講参加、懇親会参加並びに講演論文集、DVD-ROMの事前予約申込の御案内を致します。皆様、奮ってお申込み下さい。

聴講参加費は、当日参加よりも事前予約の方がお得になっております。また、講演論文集、DVD-ROMは、FIT開催中にも会場販売を行います。残部のある限りということになりますので、確実に御入手頂くには期限内のお申込みをお勧め致します。

会 期 : 2014年9月3日(水)～5日(金)  
 会 場 : 筑波大学 筑波キャンパス (つくば市天王台1-1-1)  
 交 通 : つくばエクスプレス「つくば駅」下車、つくばセンターから「筑波大学中央」行きバスあるいは「筑波大学循環バス(右回り)」で10-15分、「第三エリア前」下車  
 ※お車(自家用車)での御来場は御遠慮下さい。

### ■開催イベント企画【予定】

今回のFITでは以下の講演会、パネル討論等のイベント開催を予定しております。(詳細は逐次FIT2014Webサイトに掲載致します)

[招待講演企画・表彰式]

#### ◎船井業績賞受賞記念講演

4日14:00-15:15 第1イベント会場(3A棟 2F 3A204)  
 「日本を離れて研究をするために」  
 辻井 潤一(マイクロソフトリサーチアジア 首席研究員)

#### ◎FIT学術賞表彰式

4日13:00-13:50 第1イベント会場(3A棟 2F 3A204)

[イベント企画]

#### 第1イベント会場(3A棟 2F 3A204)

4日 13:00-13:50 FIT学術賞表彰式  
 14:00-15:15 船井業績賞受賞記念講演  
 15:30-17:30 新しい時代の情報保護と情報利活用  
 — セキュリティ技術、法律、マネジメント —

#### 第2イベント会場(3A棟 4F 3A402)

3日 13:00-15:00 映像符号化・配信技術の最新標準化動向  
 15:30-17:30 エクサスケールコンピューティング時代の大学  
 スパコンセンターの役割  
 4日 9:30-12:00 自然計算研究の最前線とその将来  
 15:30-17:30 電子ポイント(仮想通貨や企業ポイント)に  
 ついて語る  
 5日 13:00-16:00 CPS最前線(仮題)

#### 第3イベント会場(3A棟 4F 3A403)

3日 13:00-15:00 移行工学改め引退工学  
 15:30-17:30 新しい個人情報保護の枠組みとパーソナルデータの匿名化措置はどうか?  
 4日 9:30-12:00 時空間を制限したプライバシー情報保護活用のための社会基盤の構築に向けて  
 15:30-17:30 イノベーションを生み出すビジネスモデルに直結した情報システムを構築するには  
 5日 9:30-12:00 コミュニティによるものづくりとサイバーワールド  
 13:00-16:00 The 2nd ARC/CPSY/RECONF High-Performance Computer System Design Contest (第2回 高性能コンピュータシステム設計コンテスト)

### ■聴講参加費(税込)

参加区分	事前予約(7/11まで)	当日
会 員	8,000円	10,000円
非会員	17,000円	20,000円
学 生	無料	無料

※会員、非会員の聴講参加費にはプログラム・参加章・DVD-ROM含。

※会員、非会員、学生の参加区分の区別は以下の通りです。

会 員 : 電子情報通信学会、情報処理学会、電気学会、照明学会、映像情報メディア学会及び情報処理学会と協定を締結した海外の学会(ACM、IEEE、IEEE/CS、KIISE、CSI)または電子情報通信学会と協定を締結した海外の学会(IEIE、APSIPA、ECIT、IEEE/ComSoc、KICS、VDE/ITG、KIEES、CIC、IEEE/PHO、IEEE/MTT-S、IEEE/CS、KIISE)の個人会員に限ります。

非会員 : 上記の学会会員以外で学生以外の方。

学 生 : 会員/非会員を問わず無料(DVD-ROMは付きません)。

社会人学生の方も、学生証を総合受付で呈示頂ければ無料です。

### ■懇親会【予定】参加希望の方は必ず事前予約をお願いします

開催日時 : 9月4日(木) 18:00~20:00  
 会 場 : 2B棟 1F 第二エリア食堂  
 参加費(税込) : 社会人 5,000円、学生 2,000円  
 一般講演座長または査読者 3,000円

### ■冊子講演論文集・DVD-ROM販売価格(税込)

申込種別	個人購入価格	法人購入価格
講演論文集セット	57,000円	57,000円
講演論文集分冊	12,000円/冊	15,000円/冊
講演論文集DVD-ROM	8,000円	55,000円

※講演論文集セットは冊子講演論文集全分冊(カバー付き)、DVD-ROM

※学生の方は、会場にてDVD-ROM学割会場販売価格4,000円

※講演論文集の掲載分野(予定分冊構成)

第1分冊 : モデル・アルゴリズム・プログラミング、ソフトウェア、ハードウェア・アーキテクチャ  
 第2分冊 : データベース、自然言語・音声・音楽、人工知能・ゲーム、生体情報科学  
 第3分冊 : 画像認識・メディア理解、グラフィクス・画像、ヒューマンコミュニケーション&インタラクション、教育工学・福祉工学・マルチメディア応用  
 第4分冊 : ネットワーク・セキュリティ、ユビキタス・モバイルコンピューティング、教育・人文科学、情報システム  
 DVD-ROM : 上記全論文とプログラムを収録

(著者、所属、キーワードによる索引付き)

※FIT 査読付き論文の採択論文は各投稿分野の論文集分冊へそれぞれ収録されます。

### ■聴講参加、懇親会参加、講演論文集・DVD-ROMの申込み・送金方法 申込締切 : 2014年7月11日(金) 必着

申込方法 : FIT2014Webサイトからお申込み下さい。

受取方法 : 聴講参加または懇親会参加申込を頂いた方には、申込受付完了メールに引換券(PDF)が添付されておりますので、御来場の際はプリントアウトして御持参頂き、総合受付に御呈示下さい。DVD-ROM(講演論文集セット付属のものは除く)は、すべて事前発送(8月下旬予定)となります。講演論文集セットまたは分冊を御購入の場合は、お申し込みの際に「会場受取り」または「FIT終了後郵送(10月上旬)」のいずれかを選択して下さい。「会場受取り」にされた方には申込受付完了メールに引換券(PDF)が添付されておりますので、御来場の際はプリントアウトして御持参頂き、総合受付に御呈示下さい。

送金方法 : 申込締切後、見積・納品・請求書、郵便振替用紙、送金連絡票をお送りしますので指定の口座へお振込をお願い致します。

※FIT会場での現金でのお支払いは、一切お受け致しませんので予め御了承下さい。

送金期日 : 2014年10月31日(金)

### ■次年度のFIT2015開催

2015年9月 愛媛大学にて開催予定

### ■問い合わせ(FIT2014幹事学会)

〒105-0011 港区芝公園3-5-8 機械振興会館内  
 一般社団法人電子情報通信学会 大会・研究会部 FIT担当  
 TEL [03] 3433-6651 FAX [03] 3433-6659  
 E-mail : ieicefit@ieice.or.jp

CONTENTS

**Preface**

**Remarkable Answers in Math Test**  
Jin AKIYAMA (Tokyo Univ. of Science)

**Special Features**

***Increasing Number of Cyber Attacks against Social Infrastructure***

**638 0. Foreword**

Takashi MATSUMOTO (Mitsubishi Research Institute, Inc.) and Kazutaka MATSUZAKI (Control System Security Center (CSSC))

**640 1. Problems and Activities on Cyber Attacks to Social Critical Infrastructures**

Seiichi SHIN (Control System Security Center (CSSC) / The Univ. of Electro-Communications)

**647 2. Research of Cyber Attacks to Industry Control System and the Measures**

Seiki HARA (Trend Micro Inc.)

**654 3. R&D of Security Technologies for Secure and Trusted Social Infrastructures**

Tadashi KAJI (Hitachi, Ltd.)

**660 4. Trend of Evaluation / Verification Technologies and Standardization for Industrial Control System Security**

Hideaki KOBAYASHI (Control System Security Center (CSSC))

**666 5. Practical Exercises for Cyber Attacks**

Mika EZURE (Mitsubishi Research Institute, Inc.)

**673 6. New Threat of Cyber Security on Vehicle and Medical Device**

Manabu NAKANO (Information-technology Promotion Agency, Japan)

**Special Features**

***Quantum Computer***

**680 0. Foreword**

Shigeru YAMASHITA (Ritsumeikan Univ.)

**682 1. Fundamentals of Quantum Computing**

Harumichi NISHIMURA (Nagoya Univ.)

**689 2. Differences between Quantum and Classical Circuits : The Case of Addition Circuits**

Yasuhiro TAKAHASHI (NTT Corp.)

**695 3. Error Correction Technology for Quantum Computer - Physically Well-designed Topological Surface Code -**

Yuuki TOKUNAGA (NTT Corp.)

**702 4. Frontiers in Quantum Computer and The Development of Quantum Information Technology**

Kae NEMOTO, Simon DEVITT (National Institute of Informatics) and William John MUNRO (NTT Corp.)

**710 5. Quantum Programming Languages**

Ichiro HASUO (The Univ. of Tokyo) and Naohiko HOSHINO (Kyoto Univ.)

**716 6. Quantum Annealing and D-Wave Machines**

Hidetoshi NISHIMORI (Tokyo Institute of Technology)

**Special Article**

**634 A Proposal of Legal Policy and Social Issues of The 3D Printer**

Masahiro SUGAWA (Niigata Univ.)

**Report**

**636 A Quick Report on the Third Shogi Denousen**

Yoshimasa TSURUOKA (The Univ. of Tokyo)

**Article**

**734 Defining Informatics - Reference Standard in Informatics**

Masami HAGIYA (The Univ. of Tokyo)

**Senior Column : Messages on Favorite IT**

**679 Take Care of Your Own Idea**

Hideo TANIGUCHI (Okayama Univ.)

**Series : Pilgrimage to Vintage Computers / Trail Blazers' Recollections of 0's and 1's**

**726 Oral History : Interview with Taizo Iijima**

Hiroshi HATTA (OKI Consulting Solutions Co., Ltd.), Toshio MATSUNAGA (Tokyo Univ. of Technology), Naoya UKAI (Fujitsu Ltd.), Masahiro MAEJIMA, Takayuki NAGATA (National Museum of Nature and Science), Akihiko YAMADA (Computer Systems and Media Lab.) and Eiichiro YAMAMOTO (Fujitsu Ltd.)

**"Peta-gogy" for Future**

**745 IPSJ Transactions on Computers and Education**

Hiroyasu KAKUDA (The Univ. of Electro-Communications)

**746 Practice Report on Prevented by Role-playing the SNS Ostracism**

Takashi YONEDA (Osaka Seiryō High School)

**724 Biblio Talk**

**750 The Women's Club of the Editorial Committee of the IPSJ Magazine**

読後のご意見をお送りください

本誌では、現在約 100 名の方々に毎号のモニタをお願いしておりますが、より多くの読者の皆さんからのご意見、ご提案をおうかがいし、誌面の充実に役立てていきたいと考えておりますので、毎号巻末に掲載しております所定の用紙または Web ページ (<http://www.ipsj.or.jp/magazine/enquete.html>) をお使いいただき、奮って事務局までお寄せください。

一般社団法人 情報処理学会 会誌編集部門

〒 101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F E-mail: editj@ipsj.or.jp Fax(03)3518-8371

# 「情報処理」 カタログ同封サービスの ご案内

？  
 カタログ同封  
 サービスとは？

毎月会員に配布している学会誌に貴社 / 貴校のカタログや広告を同封し、直接読者にお届けするサービスです。  
 通常のDMと異なり学会誌に同封しますので、読者の開封率は格段に上がります。  
 また、カタログ送付にかかるコストを最小に抑えることができ、なおかつ情報処理を専門とする読者にターゲットを絞った効果的な案内を出すことが可能となります。

## お申し込み方法と掲載までの手続き

- 封入希望月の前月15日までに下記事項を記載の上、問合せ先までお申し込みください。
  - ◆会社名、担当者、連絡先（住所、Tel、Fax、E-mail） ◆封入希望号
  - ◆サイズ ◆カタログの簡単な内容説明
  - ◆割引対象にあたる場合はその旨記載ください。
- 封入希望月の遅くとも前月末日までに下記事項について手配をお願いします。
  - ◆カタログ見本を問合せ先までお送りください（PDF、Fax可）。
  - ◆納品業者をお知らせください。
- 納品日は封入希望月の5日（土曜、日曜、祝日の場合は翌営業日）です。日付指定にて必要枚数（20,000枚）を印刷し指定の納品先へお送りください。
  - ※ 納品先は、お申し込み後にご連絡いたします。
  - ※ 納品が遅れますと同封ができない場合がございます。その場合はキャンセルとさせていただきます。
- カタログを同封した学会誌を発行日にお送りしますので、ご確認ください。
- 後日請求書をお送りしますので振込手続きをお願いします。

1通あたり  
 約17.5円！

**基本価格 350,000円**  
 (税込 378,000円)

対象：全会員 20,000通 配布  
 (正会員 / 名誉会員 / 学生会員 / 賛助会員)

大学や  
 共催事業は  
 さらに割引も！

大学 / 研究所 / 賛助会員または情報処理学会主催・共催事業は、下記のとおり割引料金が適用されます。

大学 / 研究所 / 賛助会員  
 (基本価格の40% Off！) **210,000円**  
 (税込 226,800円)

情報処理学会主催・共催事業\*  
 (基本価格の80% Off！) **70,000円**  
 (税込 75,600円)

\*情報処理学会研究会主催、共催を含む

サイズ：A4判またはA3判二つ折り（その他についてはご相談ください）  
 用紙：色上質厚口（四六判80kg）またはコート紙（四六判90kg）相当

## ☎ 問合せ先

【広告代理店】 アドコム・メディア (株) E-mail: sales@adcom-media.co.jp  
 〒169-0073 東京都新宿区百人町2-21-27  
 Tel.(03)3367-0571 Fax.(03)3368-1519

一般社団法人情報処理学会 会誌編集部門 E-mail: editj@ipsj.or.jp  
 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5 化学会館4F  
 Tel.(03)3518-8371 Fax.(03)3518-8375

# デジタルプラクティス



デジタルプラクティス編集委員会

## 2014年4月、紙読(紙で読む)から電読(電子で読む)へ

これまでデジタルプラクティスは会員皆様に紙冊子でお届けして参りましたが、2014年4月発行号(第18号)より電子版に切り替わりました。すべての論文は、バックナンバーも含め電子図書館より無料でダウンロードできますので、これまでと変わらぬご愛顧をどうぞよろしくお願い致します。この電子化により印刷経費を低く抑えられる一方で、読者や潜在的な著者に対するプレゼンス低下が懸念されます。そこで編集委員一同、論文誌としての価値がより高まるよう、さらなる特集企画の充実や広報等に努めて参りたいと思っております。

最新号,バックナンバーは  
電子図書館 (<https://ipsj.ixsq.nii.ac.jp/ej/>) から  
無料ダウンロードで電読できます。

\* 電子図書館は事前にユーザ登録(無料)が必要です。



デジタルプラクティスの目的は、ICTの現場において、試行錯誤や創意工夫の繰り返しの中から日々生み出されるプラクティスという知を社会全体で共有することです。読者の皆様が、デジタルプラクティス論文の中からご自身の仕事にも活かせる現場の知を見出してくださいれば幸いです。著者の皆様にとってデジタルプラクティスが自己研鑽やキャリアアップの機会につながれば幸いです。今後は、読者、著者の皆様に電子版ならではのサービスを提供して参りたいと思っております。

ご質問等は情報処理学会デジタルプラクティス担当 [editdp@ipsj.or.jp](mailto:editdp@ipsj.or.jp) までお寄せください。

# 情報処理学会の会員になりませんか!

www.ipsj.or.jp

新規会員  
募集中

一般社団法人 情報処理学会は、IT に関する専門家集団として健全な情報化社会の実現に向けて、学術・文化・産業等の多方面に貢献しています。

## ■活動の概要

- 機関誌（「情報処理」「情報処理学会論文誌」）の発行
- 各種行事の開催（研究発表会、全国大会、FIT（情報科学技術フォーラム）、シンポジウム、連続セミナー他）
- 情報処理教育活動
- 国際交流
- 標準化活動
- 出版活動

## ■会員になるには

入会金（正会員のみ）と会費をお振り込みの上、入会申込書をお送りください。理事会で承認後会員証（賛助会員除く）をお送りします。情報処理学会の会員は、個人会員と賛助会員から構成されています。

### 個人会員

正会員：当学会の中心的会員で、IT 分野に携わっているかまたは興味のある個人  
学生会員：学校に在学中の個人  
名誉会員：当学会の活動において特別な功績のあった個人

### 賛助会員

当学会の活動をサポートする法人

## ■ご入会いただくと、こんな良いことがあります。



2013 年

ホット  
トピックス

### 1 最新技術を紹介する会誌「情報処理」が毎月お手元に届きます。

特集：オープンデータ活用／プライバシーを守った IT サービスの提供技術／ユーザスタディのフロンティア／ソフトウェア工学の共通問題／現役プロ棋士に勝ち越したコンピュータ将棋～第 2 回将棋電王戦速報～／スマートフォンプログラミング／生活をデザインする：生活機能構成学のアプローチ／ノーマリーオフコンピューティング／ネットワークロボット、その人と街とのかかわり／実世界に広がる装着型センサを用いた行動センシングとその応用／DoS 攻撃／新年度企画：研究会紹介／モビリティの進化、他

### 2 実務の現場で IT を実践する皆様に向けた論文誌「デジタルプラクティス」(年 4 回発行)が電子版でご覧いただけます。

特集：経営に貢献するコンタクトセンタ（1 月刊行）／利用されるクラウドコンピューティング（10 月刊行）／ヘルスケアの現場を支える IT（7 月刊行）／要求工学で情報システム開発を変える（4 月刊行）

### 3 電子図書館（情報学広場）で「情報処理」の過去の記事を見ることができます。

### 4 「連続セミナー」に会員価格(7,000 円お得)で参加できます。

時代に即しかつ技術の先進性に富んだ内容をテーマに、その分野の第一線で活躍している講師を招いて年数回にわたり開催しています。2013 年度は「ビッグデータの深化と真価」をテーマに、6 回の開催がありました。

### 5 ホットトピックスに対応する「シンポジウム・セミナー」(5,000 円以上お得)や「研究会」に会員価格で参加できます。

インターネット、E ビジネス、セキュリティ、ユビキタス・モバイル・情報家電・組込み、ディベンダブルシステム、低消費電力化、リコンフィギャラブルプロセッサ、グリッド、UML・オブジェクト指向・アスペクト指向、エージェント、セマンティックウェブ・XML・データマイニング、マルチメディア、エンタテインメント・バーチャルリアリティ、e-ラーニング、バイオインフォマティクス、バイオメトリクス、量子コンピューティング・DNA コンピューティング、進化的計算・複雑系、ITS、金融工学・経済物理

### 6 出版図書が会員割引で購入できます。

IT Text シリーズ、英文図書 Advanced Information Technology シリーズ、日本のコンピュータ史等

他にも会員向けサービスがたくさんあります。詳細は学会 Web サイトをご覧ください。

お問い合わせは、  
一般社団法人 情報処理学会 会員サービス部門

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F  
Tel.(03)3518-8370 Fax.(03)3518-8375 mem@ipsj.or.jp

# ご意見をお寄せください!

【7月10日頃までにお出してください】

宛先 一般社団法人 情報処理学会 モニタ係 (下記のいずれからも送付できます)  
http://www.ipsj.or.jp/magazine/enquete.html Fax(03)3518-8375 E-mail: editj@ipsj.or.jp  
(E-mail で送信される場合は、10-1-a のようにコードでお答えください)  
※ ご意見の投稿に伴う、住所、氏名、所属などの個人情報については、学会のプライバシーポリシーに準じて取り扱いいたします。  
http://www.ipsj.or.jp/privacypolicy.html

[コード]

- (1) ご氏名
- (2) ご所属 Tel. ( ) -
- (3) E-mail:
- (4) 業種: (a) 企業 (サービス業) (b) 企業 (製造業) (c) 研究機関 (d) 教育機関 (大学・高専など)  
(e) 学生 (f) その他 ..... 4- [ ]
- (5) 職種: (a) 研究職 (b) 開発・設計 (c) システムエンジニア (d) 営業 (e) 本社管理業務  
(f) 会社経営・役員・管理職 (g) 教職員 (大学・大学院) (h) 教職員 (小・中・高校・高専など)  
(i) 学生 (j) その他 ..... 5- [ ]
- (6) 年齢: (a) 10代 (b) 20代 (c) 30代 (d) 40代 (e) 50代 (f) 60代以上 ..... 6- [ ]
- (7) 性別: (a) 男性 (b) 女性 ..... 7- [ ]
- (8) あなたはモニタですか?: (a) はい (b) いいえ ..... 8- [ ]
- (9) あなたのご意見は「会員の広場」(会誌および Web) に掲載される場合があります。その場合:  
(a) 実名可 (氏名のみ掲載) (b) 匿名希望 (c) 掲載を希望しない ..... 9- [ ]
- (10) 今月号 (2014年7月号) の記事は良かったですか。下記の記事すべてについて評価をご回答ください。  
[ a...大変良い b...良い c...普通、どちらとも言えない d...悪い e...読んでいない ]

巻頭コラム: 数学珍答案集.....	10-1- [ ]
特別解説: 3D プリンタの社会的問題と法政策の一提言 .....	10-2- [ ]
速報 第3回将棋電王戦 .....	10-3- [ ]
特集: 増加する社会インフラを標的としたサイバー攻撃	
1. 社会インフラへのサイバー攻撃に対する課題と取り組み .....	10-4- [ ]
2. 産業制御システムへのサイバー攻撃手法の特徴と対策 .....	10-5- [ ]
3. 社会インフラの安心・安全を確保するためのセキュリティ技術の研究開発 .....	10-6- [ ]
4. 制御システムのセキュリティを対象とした評価・検証技術と標準化動向 .....	10-7- [ ]
5. サイバー攻撃に備えた実践的演習 .....	10-8- [ ]
6. 自動車や医療機器を対象とした新たなサイバー攻撃の脅威 .....	10-9- [ ]
IT好き放題: 自分の思いを大切に.....	10-10- [ ]
特集: 量子コンピュータ	
1. 量子計算の基礎 .....	10-11- [ ]
2. 量子回路と古典回路の相違: 加算回路を例として .....	10-12- [ ]
3. 量子コンピュータの誤り訂正技術 .....	10-13- [ ]
4. スケーラブル量子コンピュータの最先端と量子情報技術の展望 .....	10-14- [ ]
5. 量子プログラミング言語 .....	10-15- [ ]
6. 量子アニーリングと D-Wave .....	10-16- [ ]
ピブリオ・トーク: SQL パズル 第2版 .....	10-17- [ ]
古機巡礼/二進伝心: オーラルヒストリー: 飯島泰蔵氏インタビュー.....	10-18- [ ]
情報学を定義する.....	10-19- [ ]
べた語義: 論文誌「教育とコンピュータ」.....	10-20- [ ]
べた語義: SNS といじめ問題に対する高校での教育事例.....	10-21- [ ]
会誌編集委員会女子部.....	10-22- [ ]

(11) 本号で最も良かった記事は何ですか? 上記 [10] の設問の記事番号から1つだけ選び (例: 10-8 の記事の場合は「8」と記入), その理由をご回答ください。上記に掲載されていない記事の場合はタイトルを直接ご記入ください。

- [11-1] 良かった記事 ..... 11-1- [ ]
- [11-2] この記事に対する貴方の立場: a) 専門家 b) 非専門家 ..... 11-2- [ ]
- [11-3] 選んだ理由 (下記から、いくつでも選択可) ..... 11-3- [ ]
- a) 技術・研究動向がよく分かった b) 知的興味をかきたてられた c) 新たな知識を得ることができた d) 内容が平易で理解しやすかった  
e) その他 (具体的に下記にご記入ください)

(12) 本号で最も良くなかった記事は何ですか? 上記 [10] の設問の記事番号から1つだけ選び (例: 10-8 の記事の場合は「8」と記入), その理由をご回

答ください。上記に掲載されていない記事の場合はタイトルを直接ご記入ください。

- [12-1] 良くなかった記事 ..... 12-1- [ ]  
[12-2] この記事に対する貴方の立場：a) 専門家 b) 非専門家 ..... 12-2- [ ]  
[12-3] 選んだ理由（下記から、いくつでも選択可）..... 12-3- [ ]  
a) 記事の内容に誤りがあった b) ありきたりの内容だった c) 記事が難しすぎた d) 何を言いたいのか分からなかった e) 宣伝の意図が強すぎる  
f) テーマに興味を持てなかった g) その他（下記に具体的に記入ください）

[13] 今の特集に対する貴方の立場を教えてください。

- [13-1] 増加する社会インフラを標的としたサイバー攻撃：a) 専門家 b) 非専門家 ..... 13-1- [ ]  
[13-2] 量子コンピュータ：a) 専門家 b) 非専門家 ..... 13-2- [ ]

[14] 設問 [10] で読んでいないと答えた記事について、その理由を教えてください。

[15] 会誌に対するご意見や感想、著者への質問、巻頭コラムに登場してほしい人物、今後取り上げてほしいテーマなどありましたらご記入ください。  
（スペースが足りない場合はお手数ですが別紙を追加してください）

## 次号（8月号）予定目次

編集の都合により変更になる場合がありますのでご了承ください。

### 「特集」スーパーコンピュータ「京」の利用

スーパーコンピュータ「京」の運用状況／京における課題選定の仕組みと課題選定状況／ウィルスの全原子分子動力学シミュレーション／心疾患のメカニズム解明を目指すマルチスケール心臓シミュレータ／1km 格子間隔を切る大気大循環シミュレーションへの道のり／京コンピュータによる大規模津波シミュレーション—津波伝搬遡上コードの超高並列向け最適化—／自動車の大規模空力シミュレーション—非構造格子 vs. 構造格子—／京の威力で宇宙の正体に迫る—ダークマターの超大規模シミュレーション—／スーパーコンピュータ「京」が拓くコンピュータ創薬の未来

### 「ミニ特集」第3回電王戦を振り返って

コンピュータ将棋の現状と実力／自戦記：習甦の技術と感想／自戦記：YSS とかく戦えり

報告：2013 年度論文賞の受賞論文紹介／2013 年度長尾真記念特別賞紹介／2013 年度喜安記念業績賞紹介

教育コーナー：ぺた語義

連載：ビブリオ・トーク

コラム：巻頭コラム／シニアコラム：IT 好き放題



昨今のサイバー空間における脅威が一層深刻化する中で、本誌の読者の皆様にもご興味を持っていただけるような内容となるよう今回の特集を企画させていただきました。

現在、制御システムセキュリティセンター（CSSC）東北多賀城本部では、見学者を受け入れ、サイバー攻撃のデモ等を通しての普及啓発を実施しています。国内外で重要インフラにかかわる方々のサイバーセキュリティへの関心が高まっていることは、その見学者の多さから感じる事ができています。2013年5月のCSSCの開所式から約1年間で延べ1,500名程度の方がお越しくださいました。また、

2014年11月にはMERIDIANという重要情報インフラ政策に携わる政府機関同士の会議の一部として、各国関係者を受け入れることになっています。この特集をご覧いただき、ご興味を持っていただけた読者の皆様とも東北多賀城本部でぜひお目にかかれればと思います。

最後に、3月末締切という大変多忙な時期にもかかわらず原稿作成を引き受けていただいた執筆者の皆様、その他執筆・編集にご協力いただいた皆様に心から感謝申し上げます。

（松崎和賢／本特集ゲストエディタ）

特集を企画した感想を面白く書いてほしいという無茶とも思えるご要望を受けましたが、面白い文章を書く才能はないので、面白くないというか、むしろ笑ってはいけなような経験と感想を書かせていただきます。

まず、当たり前前の感想ですが、「4月は特に大学関係者は忙しい」ということを実感できました。各記事の初稿の締切は3月の終わりなので原稿チェックなどは4月になるということをもっと真剣に考えておくべきでした。いろんなことが遅延して事務局の方には大変ご迷惑をおかけしました。この場を借りてお詫びいたします。といっても、「人は締切直前に仕事を始める」という量子力学よりも正しいと思われる真理（私の周りだけかも）があるので、いつが締切であっても関係ないのかもしれませんが。ちなみに、ほとんどの（つまりすべてではない！）執筆者は締切を守ってくださいました。幸運なことに各分野の著名な方に執筆を引き受けていただけましたが、それにより著名な方は大変お忙しいということを再認識できました。余裕があるようにいろんな締切が設定されているはずですが、百戦錬磨のお忙しい方はそんなことは百も承知のため、結局ギリギリまで原稿が完成しないということが起こります。そうです、全部の記事がそろっていないのにこの感想を書いてい

ます。この感想が掲載されていれば事務局の方の頑張りで何とかなったということですね。

今回は、量子計算ということで、情報というよりは数学や物理をバックグラウンドとする執筆者が多くなりました。その結果、量子計算の分野では当たり前と思われる数学や物理の用語が、情報処理の読者の皆様には難しいかもしれないということを会誌編集委員の皆様とのやりとりの中で再認識できました。ただ、今回の各記事の内容を、数式を使わずに直感的に説明するということは、どうしても無理なところもあるので、少しなじみのない数式や用語の使用をご容赦いただければと思います。

ここまでは予想していたことを再確認できたという程度の感想ですが、予想外の発見がありました。それは、情報処理の会誌編集委員の皆様が、大変お忙しいはずなのに時間をかけて真剣に企画を考えられて、とても細かく原稿のチェックをされているということです。これは予想外でした。これからは、事務局の方も含めて編集に携わっている皆様のご努力に感謝の気持ちを忘れずに、会誌は正座しながら読ませていただこうと思います。（知り合いの方へ：本当かは突っ込まないでください）

（山下 茂／本特集ゲストエディタ）

広告のお申込み

■広告料金表

掲載場所	4色	2色	1色
表2	330,000円 (税込356,400円)	—	—
表3	275,000円 (税込297,000円)	—	—
表4	385,000円 (税込415,800円)	—	—
表2対向	300,000円 (税込324,000円)	—	—
表3対向	265,000円 (税込286,200円)	190,000円 (税込205,200円)	155,000円 (税込167,400円)
前付1頁	250,000円 (税込270,000円)	165,000円 (税込178,200円)	135,000円 (税込145,800円)
前付1/2頁	—	—	80,000円 (税込86,400円)
前付最終	—	—	148,000円 (税込159,840円)
目次前	—	—	148,000円 (税込159,840円)
差込 (A判70.5kg未満 1枚)	275,000円 (税込297,000円)		
差込 (A判70.5kg～86.5kg 1枚)	350,000円 (税込378,000円)		
同封 (A判 1枚)	350,000円 (税込378,000円)		

■「情報処理」

発行 一般社団法人 情報処理学会  
 発行部数 20,000部  
 体裁 A4判  
 発行日 毎当月15日  
 申込締切 前月10日  
 原稿締切 前月20日  
 広告原稿 完全版下データ  
 原稿寸法 1頁 天地260mm×左右180mm  
 1/2頁 天地125mm×左右180mm  
 雑誌寸法 天地297mm×左右210mm

■問合せ・お申込み先

〒169-0073 東京都新宿区百人町2-21-27  
 アドコム・メディア(株) (Tel/Fax/E-mailは下に記載)

\*原稿制作が必要な場合には別途実費申し受けます。  
 \*同封のサイズ・割引の詳細についてはお問合せください。

掲載広告の資料請求

掲載広告の詳しい資料をご希望の方は、ご希望の会社名にチェック☑を入れ、送付希望先をご記入の上、Faxにて（またはE-mailにて必要事項を記入の上）アドコム・メディア(株)宛にご請求ください。

■「情報処理」55巻7号 掲載広告（五十音順）

インタフェース …………… 表2                       培風館…………… 前付最終上  
 オーム社…………… 表2対向                       フォーラムエイト …………… 同封

すべての会社を希望

■資料送付先

フリガナ  
お名前 \_\_\_\_\_

勤務先 \_\_\_\_\_ 所属部署 \_\_\_\_\_

所在地 (〒 \_\_\_\_\_ ) \_\_\_\_\_

TEL ( \_\_\_\_\_ ) \_\_\_\_\_ - \_\_\_\_\_ FAX ( \_\_\_\_\_ ) \_\_\_\_\_

ご専門の分野 \_\_\_\_\_



お問合せ・お申込み・資料請求は

広告総代理店 **アドコム・メディア(株)**

Tel.03-3367-0571 Fax.03-3368-1519 E-mail: sales@adcom-media.co.jp



## 賛助会員のご紹介

本会をご支援いただいております賛助会員をご紹介します。

Web サイト (<http://www.ipsj.or.jp/annai/aboutipsj/sanjo.html>) 「賛助会員一覧」のページからも  
各社へリンクサービスを行っておりますので、ぜひご覧ください。

照会先 情報処理学会 会員サービス部門 E-mail: [mem@ipsj.or.jp](mailto:mem@ipsj.or.jp) Tel.(03)3518-8370

### ●●● 賛助会員 (20 ~ 50口)

**HITACHI**  
Inspire the Next

(株) 日立製作所

**FUJITSU**

富士通 (株)

**NEC**

日本電気 (株)

**MITSUBISHI**  
Changes for the Better

三菱電機 (株)

**TOSHIBA**

(株) 東芝

**IBM**

日本アイ・ビー・エム (株)

### ●●● 賛助会員 (10 ~ 19口)

**Google**

グーグル (株)

**GREE**

GREE (株)

**docomo**

(株) NTT ドコモ

**NTT**

日本電信電話 (株)

**Microsoft**

日本マイクロソフト (株)

### ●●● 賛助会員 (3 ~ 9口)

**NTT Data**

NTT データ (株)



NTTコムウェア

NTT コムウェア (株)

**OKI**

沖電気工業 (株)

**楽天**

楽天 (株)

**JISA**

情報サービス産業協会

**uejima**

(株) うえじま企画

**SANBI**

三美印刷 (株)

**SONY**

ソニー (株)

**Panasonic**

パナソニック (株)

**Plat'Home**

ぶらっとホーム (株)

### ●●● 賛助会員 (2口)



(株) KDDI 研究所



NTT アドバンステクノロジー (株)



三協印刷 (株)



鉄道情報システム (株)



(株) ナレッジクリエーション  
テクノロジー



日本放送協会  
放送技術研究所



(株) 日立システムズ

インテル (株)

【A～Z】

(株) ATR-Trek  
 (株) CIJ  
 (株) CIJネクスト  
 (株) HBA  
 (株) IT働楽研究所  
 JRC エンジニアリング(株)  
 (株) JTB法人東京 法人営業川崎支店  
 (株) K & S  
 (株) KDDI研究所  
 MHI エアロスペースシステムズ(株)  
 NEC システムテクノロジー (株)  
 (株) NEC 情報システムズ  
 NEC ソフトウェア東北(株)  
 NEC ソリューションイノベータ(株) 技術統括部  
 NEC ソリューションイノベータ(株) 経営企画本部  
 NEC フィールドディング(株)  
 NTT アドバンステクノロジー(株)  
 NTT コムウェア(株)  
 NTT ソフトウェア(株)  
 (株) NTT データ  
 (株) NTT データ・アイ  
 (株) NTT データ関西  
 (株) NTT データ九州  
 (株) NTT データ東海  
 (株) NTT データ東北  
 (株) NTT ドコモ  
 (株) OKI ソフトウェア  
 (株) PFU  
 SCSK (株)  
 TDC ソフトウェアエンジニアリング(株)  
 TIS (株)

【あ行】

アートシステム(株)  
 アイアンドエルソフトウェア(株)  
 (株) アイヴィス  
 (株) アイ・エス・ビー  
 アイシン・コムクルーズ(株)  
 アイシン精機(株)  
 (株) アイズファクトリー  
 アドコム・メディア(株)  
 (株) アドバンス トラフィック システムズ  
 (株) アドバンス・メディア  
 (株) アルファシステムズ  
 (株) いい生活  
 (株) イーブックイニシアティブジャパン  
 池上通信機(株)  
 伊藤忠テクノソリューションズ(株)  
 伊藤忠テクノソリューションズ(株) IT ビジネス企画室  
 (株) インテック  
 インテル(株)

インフォサイエンス(株)  
 (株) ヴァル研究所  
 ヴィスコ・テクノロジー(株)  
 (株) うえじま企画  
 (株) エクサ  
 エクセルソフト(株)  
 (株) エスケーエレクトロニクス  
 エヌ・ディー・アール(株)  
 (株) エルザジャパン  
 オークマ(株)  
 (株) 大塚商会  
 (株) オーム社  
 沖電気工業(株)  
 (株) 小野仁  
 オムロン(株)

【か行】

(独) 科学技術振興機構  
 (公財) 画像情報教育振興協会  
 (学) 片柳学園日本工学院専門学校  
 (学) 片柳学園日本工学院八王子専門学校  
 関西テレビソフトウェア(株)  
 関電システムソリューションズ(株)  
 (一財) 機械振興協会  
 キヤノン(株)  
 キヤノン(株) 技術資料センター  
 キヤノン IT ソリューションズ(株)  
 キヤノンソフトウェア(株)  
 (公財) 九州先端科学技術研究所  
 共立出版(株)  
 (株) 近代科学社  
 グーグル(株)  
 グリー(株)  
 (株) コア 中四国カンパニー  
 (株) 構造計画研究所  
 国土大学図書館・情報メディアセンター  
 国立国会図書館  
 コニカミノルタ(株)

【さ行】

サクサ(株)  
 サクシード(株)  
 三協印刷(株)  
 三美印刷(株)  
 (株) シーエーシー  
 (株) ジーダット  
 (株) ジェイアールシステム・エンジニアリング  
 (株) ジェイアール東日本情報システム  
 システム・オートメーション(株)  
 シャープ(株)  
 (株) ジャステック  
 (株) ジャパンテクニカルソフトウェア  
 (一社) 情報サービス産業協会  
 (独) 情報処理推進機構  
 新日鉄住金ソリューションズ(株)

住友電気工業(株)  
 (株) セガ  
 (株) セカンドセクション  
 セコム(株)  
 ソニー(株)  
 ソニーグローバルソリューションズ(株)  
 (株) ソフトウェアコントロール  
 (一財) ソフトウェア情報センター  
 ソフトウェア特許情報センター  
 ソフトバンクモバイル(株)

【た行】

(株) 中電シーティーアイ  
 (一社) 中部産業連盟  
 中部電力(株)  
 通研電気工業(株)  
 テービーテック(株)  
 デジタルプロセス(株)  
 鉄道情報システム(株)  
 (公財) 鉄道総合技術研究所  
 (公財) 電気通信普及財団  
 (社) 電子情報技術産業協会  
 (株) 電盛社  
 (株) デンソー  
 (株) デンソー IT ソリューションズ  
 (株) デンソーアイティラボラトリー  
 (株) デンソークリエイト  
 (株) 電通国際情報サービス  
 (一財) 電力中央研究所  
 東海ソフト(株)  
 東海旅客鉄道(株)  
 (株) 東芝  
 東芝インフォメーションシステムズ(株)  
 東芝システムテクノロジー(株)  
 東芝情報システム(株)  
 東芝ソリューション(株)  
 東芝マイクロエレクトロニクス(株)  
 東芝メディカルシステムズ(株)  
 (株) 東和システム  
 トーヨー企画(株)  
 特許庁  
 トッパン・フォームズ(株)  
 (株) トヨタコミュニケーションシステム  
 トヨタ自動車(株)  
 (株) 豊田中央研究所  
 (株) トヨタデジタルクルーズ  
 (株) ドワンゴ

【な行】

(株) ナレッジクリエーションテクノロジー  
 (株) ニコンシステム  
 日鉄日立システムエンジニアリング(株)  
 日本アルゴリズム(株)  
 日本電気(株)

(株) 日本電気特許技術情報センター  
 日本アイ・ビー・エム(株)  
 (公社) 日本化学会  
 日本銀行  
 日本原子力研究開発機構  
 日本証券テクノロジー(株)  
 (一財) 日本情報経済社会推進協会  
 (一社) 日本情報システム・ユーザー協会  
 日本信号(株)  
 日本電子計算(株)  
 日本電信電話(株)  
 (一財) 日本品質保証機構  
 日本放送協会 放送技術研究所  
 日本マイクロソフト(株)  
 日本無線(株)  
 日本ユニシス(株)  
 (株) 日本旅行  
 (株) 野村総合研究所

【は行】

(株) ハイエレコン  
 パイオニア(株)  
 萩原電気(株)  
 (有) パクサリー  
 パナソニック(株)  
 パナソニック(株) AVC ネットワークス社  
 パナソニック(株) エコソリューションズ社  
 パナソニック SN エバリュエーションテクノロジー(株)  
 パナソニック SN エバリュエーションテクノロジー(株) 福岡図書室  
 (株) ハピネット  
 日立アイ・エヌ・エス・ソフトウェア(株)  
 (株) 日立国際電気  
 (株) 日立産業制御ソリューションズ  
 (株) 日立システムズ  
 (株) 日立製作所 情報・通信システム社  
 (株) 日立製作所 中央研究所  
 (株) 日立製作所 中国支社  
 (株) 日立製作所 東北支社  
 (株) 日立製作所 横浜研究所  
 (株) 日立ソリューションズ  
 (株) 日立ソリューションズ西日本  
 (株) 日立ソリューションズ東日本  
 (株) 日立ソリューションズ・ビジネス  
 (株) 日立テクニカルコミュニケーションズ  
 (株) ファースト  
 (株) フォーカスシステムズ  
 (株) フォーラムエイト  
 (株) フジキカイ 名古屋工場  
 富士通(株)

(株)富士通アドバンスドエンジニアリング  
 (株)富士通エフサス  
 (株)富士通九州システムズ  
 (株)富士通システムズ・イースト  
 (株)富士通システムズ・ウエスト  
 (株)富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ  
 フジテック(株)  
 富士フィルム(株)  
 船井電機(株)  
 フューチャーアーキテクト(株)  
 ぷらっとホーム(株)  
 古野電気(株)  
 (株)堀場製作所

(株)本田技術研究所基礎技術研究センター

【ま行】

マツダ(株)  
 三井情報(株)  
 (株)ミックナイン  
 三菱UFJモルガン・スタンレー証券(株)  
 三菱スペース・ソフトウェア(株)  
 三菱電機(株)  
 三菱電機インフォメーションシステムズ(株)  
 三菱電機コントロールソフトウェア

ア(株)  
 三菱電機コントロールソフトウェア(株)伊丹事業所  
 三菱電機情報ネットワーク(株)  
 三菱電機メカトロニクスソフトウェア(株)  
 (株)三菱東京UFJ銀行  
 三菱プレジジョン(株)  
 武蔵野美術大学  
 (株)メイテツコム

【や行】

ヤフー(株) Yahoo! JAPAN 研究所

ヤマハ(株)  
 横河電機(株)

【ら行】

楽天(株)  
 リードエグジビジョンジャパン(株)  
 (株)リコー  
 (株)リナックス総合研究所  
 (株)リンクレア

注) 一般社団法人・一般財団法人・公益社団法人・公益財団法人はそれぞれ(一社)・(一財)・(公社)・(公財)と省略した。

協力協定学会との正会員会費相互割引について

各学協会との協定により、正会員会費が割引になります。ぜひ、ご活用ください。  
 本会 Web ページ (<http://www.ipsj.or.jp/member/kyoryoku.html>) にも掲載しております。

●協力協定学会名・相互割引率 (正会員会費が割引対象)

IEEE	(The Institute of Electrical and Electronics Engineers, Inc.)	10%
IEEE-CS	(IEEE Computer Society)	10%
ACM	(Association for Computing Machinery)	20%
CSI	(Computer Society of India)	20%

※協力協定学会の会員費割引については、海外関連団体 (<http://www.ipsj.or.jp/annai/kanrenlink/kaigaikanren.html>) をご参照いただき、直接お問い合わせください。

●本会への申請方法

会費割引を希望する正会員は、次のフォームから申請してください。8月以降の申請は次年度会費を割引します。

正会員会費割引申請フォーム (<https://www.ipsj.or.jp/02moshikomi/mem/m-seikaiin-kaihiwaribiki.html>)

初めて申請する方は上記協力協定各学会正会員の会員証コピーを Fax 等で送ってください。割引適用は1学会分といたします。

※これから入会を希望する方も同様に申請できます。入会申込書(正会員) ([https://www.ipsj.or.jp/02moshikomi/mem/m-nyukai\\_sei.html](https://www.ipsj.or.jp/02moshikomi/mem/m-nyukai_sei.html)) をご確認ください。

■照会先：会員サービス部門 E-mail: [mem@ipsj.or.jp](mailto:mem@ipsj.or.jp) Tel(03)3518-8370 Fax(03)3518-8375